

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等	
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)					
1		1	1	1	1				「特産品協会だより」発行事業	18年度～	会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供する。	—	会員相互の情報交流を深め、より売れる特産品づくりを促進するため、消費者ニーズ、流通動向、商品開発に関する情報を会報誌「鹿児島県特産品だより」として提供した。	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会		
2		1	1	1	1		○		かごしまの特産品モニター活用事業	23年度～	消費者のニーズに対応した特産品開発を推進する。	—	多様化する消費者ニーズを的確に捉えたモノづくりを推進するため、特産品モニターによる評価等を聴取する求評会等を開催した。	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	消費者 民間企業等	
3		1	1	1	1				「きりり輝け！モノづくりセミナー」事業	24年度～	「安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催する。	—	安全・安心なモノづくりを支援するため、県内特産品製造業者や団体等を対象に、流通・販売、デザイン、関係法令等の専門家によるセミナーを開催。	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会		
4		1	1	1	2		○		特産品コンクール開催事業	2年度～	県内で新たに開発・製造・改良された商品のコンクールを開催し、生産者の技術向上と商製品開発意欲の高揚を図るとともに、入賞商品を広くPRすることにより、販路の開拓を図る。	1,100	1 実施方針 コンクールの開催と県内外における入賞商品PR 2 スケジュール (1) 出品商品募集(7月～9月) (2) コンクール開催(10月) (3) 入賞商品展示・販売会(10月～3月)	1,100	1 実施方針 コンクールの開催と県内外における入賞商品PR 2 スケジュール (1) 出品商品募集(6月～8月) (2) コンクール開催(10月) (3) 入賞商品展示・販売会(10月～3月)	継続予定	—	○	かごしまの新特産品コンクール実行委員会 (鹿児島市鹿児島県(公社)鹿児島県特産品協会)		
5		1	1	1	2		○		よかもん自慢支援事業	25年度～	「かごしまの新特産品コンクール」において、市長賞等を受賞した商品を対象に、受賞者が受賞商品の販路拡大を図る際の経費を助成する。	300	1 実施方針 コンクール開催後、市長賞及び県知事賞等の受賞者に対し助成(受賞した翌年度まで実施する事業に限る) 2 スケジュール (1) コンクール開催(10月) (2) 当年度受賞者に対する助成(10月～)	600	1 実施方針 コンクール開催後、市長賞及び県知事賞等の受賞者に対し助成(受賞した翌年度まで実施する事業に限る) 2 スケジュール (1) コンクール開催(10月) (2) 当年度受賞者に対する助成(10月～)	継続予定	—	○	産業支援課		
6		1	1	1	2		○		メディア等活用宣伝事業 ※H25までは「観光かごしまプロモーション事業」	S55年度～	観光客の一層の誘致を図るため、本市観光の魅力を雑誌広告やテレビCMなど、あらゆる媒体を活用しながら、宣伝広報を行う。	59,029	・メディアミックス テレビスポット、テレビ番組制作放映、交通広告、パンフレット制作、Webプロモーションの実施 ※効果的・効率的な広告媒体やエリア等について検討する。 ・広告 地域情報誌等広告 ・観光DVD 日本語版情報更新、活用 ・観光HP 観光ホームページの運営	40,257	・メディアミックス テレビスポット、テレビ番組制作放映、交通広告、Webプロモーションの実施 ※効果的・効率的な広告媒体やエリア等について検討する。 ・広告 地域情報誌等広告 ・観光DVD 日本語版情報更新、活用 ・観光HP 観光ホームページの運営	継続予定	—	◎	観光プロモーション課		
7	◎	1	1	1	2		○		首都圏における“食の都かごしま”プロモーション事業	28年度～	首都圏で“食の都かごしま”の魅力を発信し本市のシティセールスを行うため、鹿児島県の食材を使ったフェアや試食会等を実施する。	—	—	6,272	・鹿児島県の食材を使った試食会の開催(11月頃) ・鹿児島県の食材を使ったフェアの開催(11～12月頃) ・各種媒体を活用した情報発信(11～12月頃) ・首都圏開催イベントへの出展(10月)	継続予定	—	—	東京事務所		
8		1	1	1	2		○		アンテナショップ機能強化事業	元年度～	鹿児島市(産業会館)と東京(遊楽館)の鹿児島ブランドショップにおいて、本県特産品の総合展示や宣伝・販売を行い、特産品の「鹿児島ブランド」確立や販路拡大を図り、本県特産品の振興による地域産業の発展に寄与する。	—	1 生産者や企業団体等と連携した本県特産品の総合展示、宣伝・紹介及び販売 2 特産品コンクールの入賞商品や旬の特産品のタイムリーな展示、宣伝紹介及び販売 3 インターネットによる宣伝・紹介、モニターによる特産品への求票等	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会		
9		1	1	1	2		○		ふるさとかごしま物産展開催事業	21年度～	県民に本県特産品等に対する理解と認識を深めてもらい、県産品の利用促進及び観光客の誘致等を図る。	—	平成27年9月、山形屋において、県内の特産品、特に今回は「鹿児島県の黒の特産品」や「モノづくりに取り組む女性」にスポットを当てて開催した。	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	団体、民間企業等	
10		1	1	1	2		○		九州新幹線全線開業効果波及促進事業	23～24年度	九州新幹線全線開業に伴い増加した観光客やビジネスチャンスを各業種、各地域に波及させる。	—	—	—	—	—	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	市町村、団体、民間企業等	
11		1	1	1	2		○		新商品等開発支援事業	25年度	九州新幹線全線開業3周年を迎え、その効果をさらに県下全域に維持・拡大させるため、全線開業後に開発・改良された県産品等を一堂に展示・紹介し、新商品等への認知度向上と市場拡大を図る。	—	—	—	—	—	—	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
12		1	1	2	1		○		農工商等連携人材育成塾開催事業	24～26年度	地域の農林水産資源や技術等を活用した農工商等連携の取組を促進するため、農林漁業者や商工業者等の農工商等連携に対する理解促進や取組への意識を醸成するとともに、異業種間の連携により新たな商品・サービス等を創出する人材育成のセミナー等を開催する。	—	—	—	—	—	—	—	◎	産業創出課	市町村、民間企業等

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
13		1	1	2	1	○			フードビジネス推進事業	27年度~	かごしまの豊かな農林水産資源や食品加工技術等を生かしたこだわりのある新商品等開発を促進するため、人材育成を通じて商品開発プランの作成から、食品関連製造業者等の商品開発、マーケティング・販路開拓までを一貫して支援する体制を構築し、域外への販路拡大や“食の都”としてのブランド力の向上を通じて、食品関連産業の振興を図る。	12,703	(1)新商品開発に係る人材育成塾の開催 ・参加者:4事業者 ・内容:セミナー(2回)、ワークショップ(2回)、個別相談会(5回) (2)トライアル試食・販売会の開催 ・開催日:平成28年1月 ・場所:山形屋 天文館ベルグ広場 ・参加者:H27塾生4事業者、他9事業者 (3)新商品開発等に関する勉強会の開催 ・参加者:76名 ・内容:セミナー(3回) (4)フードビジネス交流会 ・開催日:平成27年11月 ・場所:城山観光ホテル ・出展者:32事業者 (5)商品開発支援コーディネーターの配置 ・内容:商品開発へのアドバイス等 ・実績:41事業者を訪問 (6)マーケティング調査・販路開拓支援 ・内容:展示商談会への出展による新商品の評価、分析 ・参加者:8事業者 (7)アドバイザー個別相談会 ・内容:商品開発や販路開拓等に関する食の専門家による個別相談支援(3回) ・参加者:3事業者 (8)新商品開発に対する補助金 ・内容:新商品開発に対する補助(3事業者)	11,161	(1)商品開発ハンズオン支援関係業務 ・対象者:3事業者 ・内容:新商品開発等に対し専門家等が支援 (2)商談会事前対策関係業務 ・参加者:30名程度 ・内容:セミナー(1回) (3)フードビジネス交流会関係業務 ・参加者:55事業者程度 ・内容:交流会(1回) (4)個別相談会関係業務 ・対象者:3事業者 ・相談回数:5回程度/事業者 (5)コーディネート関係業務 ・配置人数:1名 ・内容:商品開発へのアドバイス等 (6)新商品開発に対する補助金 ・内容:新商品開発に対する補助(3事業者)	継続予定	—	◎	産業創出課	市町村、民間企業等
14		1	1	2	1	○		農工商等連携支援事業	20~24年度	中小企業者と農林漁業者との出会いの場や交流の機会を提供するとともに、啓発や研修等を通じて、農工商連携事業のきっかけ作りを試演する。	—	—	—	—	—	—	○	県工業倶楽部等		
15		1	1	2	2	○	○	地域資源活用・農工商等連携促進プログラム事業	20~29年度	多種多様な本県の地域資源の、より効果的な活用や新たな地域資源の開発による新事業創出、農林水産業者との連携により互いの経営資源を活用した新商品、新サービスの開発に向けて中小企業等が行う研究開発、試作品製作、販路開拓等を支援し、起業化や新事業の展開を促進する。	9,172	助成件数 新規 1件 継続 4件	9,000	助成計画件数 新規 1件 継続 2件	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	県、大学、公設試等	
16		1	1	2	2	○		農工商等連携推進事業	22~24年度	中小企業者と農林漁業者が相互に連携し、本県の良質で豊富な農林水産物を活用した新たな商品やサービスなどを開発する農工商等連携を促進することにより、地域経済の活性化を図る。	—	—	—	—	—	—	○	県(産業立地課)	県工業倶楽部等	
17		1	1	2	3	○		アグリクラスター構想事業	18年度~	①「地産・地消」への取り組み ②「商品力向上・販路拡大」への取り組み(ビジネスマッチング)	—	【平成27年度開催実績】 ・国内商談会3回	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島アグリ&フード金融協議会(国内商談会開催のみ)	鹿児島銀行	
18		1	1	3	1	○		桜島・錦江湾資源活用商品創出支援事業	25~26年度	桜島・錦江湾の地域資源を活用した商品・サービスの開発や販路開拓等を支援するとともに、商品開発などを担う人材を育成することで、地域ブランドを活用した新商品等の開発を支援する。	—	—	—	—	—	—	○	産業創出課		
19		1	1	4	1	○		農産加工設備整備支援事業	24年度~	地域の農産物等を使った加工品作りを促進するため、農産加工設備の整備に対し助成する。	1,063	農産加工設備の整備に対する助成	956	農産加工設備の整備に対する助成	継続予定	—	○	生産流通課		
20		1	1	4	1	○		新商品創出支援事業	18~23年度	消費者ニーズに即した「価値を高めた売れるモノづくり」を促進する。	—	—	—	—	—	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会		
21		1	1	4	1			産業支援コーディネーター等連絡会議の開催	—	産業創出に関わる「コーディネーター職」の交流と情報共有を目的とした会議を年数回開催している。	0	6月、11月、2月の計3回を実施。県内各地から40名前後の産学官連携に係る関係者が出席し、活動状況の報告や情報交換などを行った。	0	年に3回の会議を開催予定	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター	県内関係機関	
22		1	1	4	1	○		新事業創出支援事業 (複数の事業の総称 ・農工商連携支援事業 ・地域資源活用支援事業)	17年度~	法律に基づく新連携、地域資源活用、農工商連携の各事業計画の認定を目指す中小企業者等に対して、事業計画作りから、販路開拓に至るまで、一貫して支援を図る。	—	県内認定件数 ・地域資源活用 3件 ・農工商連携 0件	—	認定回数:3回/年	継続予定	—	○	中小企業基盤整備機構	国、県、中小企業支援機関	
23		1	1	4	1	○	○	かごしま・こだわり「食」の商談会	23年度~	九州新幹線全線開業を機に、食の宝庫である鹿児島を改めて県内外にPRするとともに、優れた商品や特色ある商品を有する地元企業の販路開拓・販売促進を支援するため、県内外の食品関連バイヤーを招聘し、個別相談会を開催する。	224	・日程:平成28年3月3日 ・内容:県内バイヤーとの商談会	500	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所		

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等	
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)					
24		1	1	4	1	○	○		かごしまの「食」付加価値向上対策事業	26年度～	東アジアなど国内外の需要を取り込むため、県内食品関連業者が行う商品開発や新市場開拓など付加価値向上の取組を促進するとともに、国内外の新たな市場にビジネス展開できる人材の確保を図る。	135,596	・海外展開セミナーの開催 ・新商品開発や販路拡大等の取組に対する助成	165,927	・海外展開セミナーの開催 ・新商品開発や販路拡大等の取組に対する助成	事業終了	—	◎	県(産業立地課)		
25		1	1	4	2				鹿児島大学ラボツアー事業	—	地域企業と大学との交流・情報交換を目的として「鹿児島大学ラボツアー」を開催している。	—	農水産学部で実施。かごしま産業支援センターの告知等により97名の企業関係者や農業従事者が参加した。各研究室訪問では活発な意見交換も行われた。	—	継続実施(9月1日)	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター	かごしま産業支援センター	
26		1	1	4	2				テクニカルショウ横浜への出展	—	鹿児島大学の研究成果を横浜地域の企業にPRするために「テクニカルショウヨコハマ」に出展している。	200	神奈川県工業技術・製品に関する総合見本市に「鹿児島に眠る『金』と鹿大アカデミアの融合事業」として理工学研究科の3名の教員による研究シーズを出展した。	—	—	—	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター	横浜企業支援財団	
27		1	1	4	2		○		企業・大学研究者のマッチング業務	—	研究者、企業からのニーズに対応し、(公財)かごしま産業支援センターや(株)鹿児島TLOと連携し、マッチング業務を行っている。	0	継続して研究者や企業への支援を行った。	0	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター		
28		1	1	4	2				イノベーションシステム整備事業「大学等産学官連携自立化促進プログラム(コーディネーター支援型)」	22～24年度	大学等における優れた研究成果の社会還元促進に向けて、産業界等への技術移転活動及び他機関や産業界、自治体等との連携促進・強化等に取り組む専門人材(産学官連携コーディネーター)の活動及びその育成を支援する。	—	—	—	—	—	—	○	(文部科学省)	鹿児島大学産学官連携推進センター	
29		1	1	4	2				おおた研究・開発フェアへの出展	25年度～	「産学連携」「産産連携」「技術移転」「新製品・新技術のPR」を目的とした展示会へ鹿児島大学の研究シーズを出展。来場者の半数近くは大田区の企業である。大田区は中小のモノづくり企業が集積する日本のモノ作りの土台を支える地域である。	300	理工学研究科から「火山灰やリサイクルマテリアルを有効活用した環境に優しい藻場基盤材の開発とそのモニタリング」及び「簡易な3次元ビデオ計測システムとWebベースによるデータ共有サービス」について出展。	200	理工学研究科から1テーマ出展予定(10月)	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター		
30		1	1	4	2				ライフサイエンスワールド(旧バイオテック) アカデミックフォーラムへの出展	—	リードエグジビジョンジャパン株式会社が主催するアジア最大のバイオテクノロジーに特化した展示会へ鹿児島大学の研究シーズを出展。毎年5月に開催。	300	医歯学総合研究科から「新規な癌抑制経路を標的としたスクリーニング系の構築と創薬シーズの同定」について出展を行った。	400	医歯学総合研究科から「医師主導治験で実用化計画中の独自開発の革新的がん標的ウイルス医薬m-CRA」「二革新技術 1)IPS細胞の腫瘍化根絶のベクター技術 2)肝疾患根治薬のHB-EGF」について出展した。(5月)	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター		
31		1	1	4	2				新技術説明会への出展	—	JSTが主催する新技術説明会へ参加。平成27年度からは山口大学、佐賀大学などが加わり「地方創生!南日本ネットワーク発新技術説明会」、平成28年度は「医療・福祉・創薬 新技術説明会」として開催。	350	理工学研究科から「形態可能なリアルタイム色相ブレンド色覚補助ツール」と「片麻痺患者の立脚能力の評価・リハビリ装置の開発」について発表した。	350	理工学研究科及び医歯学総合研究科から3件のシーズについて発表済(7月)	継続予定	—	○	鹿児島大学	JST	
32		1	1	4	2	○			アグリビジネス創出フェアへの出展	—	農林水産省主催の農林水産・食品分野などの展示会。	400	農学部から「循環水電解方式を用いた水耕栽培液の微生物制御法」「排水処理水を用いた低カリウム野菜の栽培法」「花栽培における色素の変化法」「養殖ブリ類のストレスレス水揚げシステムと大型魚全自動高速タイフイル処理機開発」、共同獣医学部から「酪農のスマートサイエンティフィックファーム技術」について出展した。	400	農学部が主体となって出展を予定。	継続予定	—	○	鹿児島大学農学部 鹿児島大学産学官連携推進センター		
33		1	1	4	2				BioJapanへの出展	—	バイオインダストリー協会が主催する国内最大規模のバイオテクノロジーに関連する展示会。毎年10月～1月に実施	400	医歯学総合研究科から「ヒトアポリポタンパク(a)発現ミニボタの作製～動脈硬化症モデルをめぐって～」、医学部・歯学部附属病院 から「医療用迅速ゲル化インジェクタブルゲルとダブルルーメンカテーテル」について出展した。	300	医歯学総合研究科から1テーマ出展予定(10月)	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター		
34		1	1	4	2				JST発医療分野新技術説明会	27年度	JST(科学技術振興機構)の事業A-STEP(研究成果最適展開支援プログラム)に採択された研究シーズから、選りすぐりのものを企業に紹介する説明会。	100	平成25年度、26年度に採択された技術シーズ約1500件のうち、医療分野に展開が期待される12件が選ばれ、本学から2件出展。理工学研究科、若尾雅広助教の「糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子を用いた抗糖鎖抗体の検出技術」と医学部・歯学部附属病院、瀧田倫史助教の「うがい液からの口腔癌および発癌ハイリスク群の非侵襲的検出法」。	—	—	—	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター	JST	
35		1	1	4	2				KTC大学合同新技術説明会・技術相談会	27年度～	九州全域の大学が保有するシーズの中から特に企業ニーズの高い最新情報を企業担当者に提供する説明会。	50	第1回説明会に医学部・歯学部附属病院、玉井努特任講師の「医療用迅速ゲル化インジェクタブルゲルとダブルルーメンカテーテル」を出展(ポスター展示のみ)。第3回説明会に農学部、渡部由香准教授の「下水処理水を用いた低カリウム含有植物の栽培装置及び栽培方法」を出展。	—	出展(1テーマ)に向けて準備中(11月予定)	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター	九州大学・九州工業大学・熊本大学	
36	◎	1	1	4	2				イノベーション・ジャパン	28年度	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催する大規模な新技術の展示会。ビジネスマッチングの場も設けられている。	—	—	200	平成28年度は医歯学総合研究科からの3名と医歯学総合理工学研究科から4テーマ出展(5月)	継続予定	—	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター	
37		1	1	4	3	○			特産農産物育成事業 →27年度から農林水産物PR事業へ統合	17～26年度	市内産特産物であるニガウリ、桜島大根、桜島小ミカン等の消費拡大をすすめる、経営の安定を図るため、生産者団体などが行う販売促進活動に係る経費に対し助成等を行う。	—	事業統合(農林水産物PR事業へ)	—	—	—	—	○	生産流通課		

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
38		1	1	4	3	○			6次産業化推進事業	24年度~	特産物を活用した農業の6次産業化を推進するため、研修会の開催や販売促進活動、先進地研修、新商品開発に対する支援を行う。	1,461	(1)6次産業化の推進 ・6次産業化に関する研修会の実施 (2)販路促進支援事業 ・物産展等への参加助成(旅費等補助) (3)先進地研修支援事業 ・先進地研修への助成(旅費等補助) (4)新商品開発支援事業 ・新商品開発経費への助成(委託料等補助)	1,860	(1)6次産業化の推進 ・6次産業化に関する研修会の実施 (2)販路促進支援事業 ・物産展等への参加助成(旅費等補助) (3)先進地研修支援事業 ・先進地研修への助成(旅費等補助) (4)新商品開発支援事業 ・新商品開発経費への助成(委託料等補助)	継続予定	—	○	生産流通課	
39		1	1	4	3	○			むらおこし事業等地域活性化事業	—	全国の地域資源等を活用して開発された特産品を中心に、各地域の特色を生かした商品の成果普及や関係者の情報交換を積極的に行うとともに、各地の観光PRを行い、産業おこしによる地域経済の活性化自立化に寄与することを目的とする。	—	かごしま市商工会として実施なし	—	※ニッポン全国物産展は実施予定	継続予定	—	△	全国商工会連合会 (鹿児島県商工会連合会・かごしま市商工会)	
40		1	1	4	3	○			物産観光展開催事業	元年度~	本県特産品や観光、文化、地域情報等を総合的に紹介し、本県のイメージアップ並びに特産品の振興を図るため、本協会の自主事業として国内百貨店及び量販店数十箇所で物産展等を開催するほか、鹿児島県及び鹿児島市等と連携し国内数カ所の百貨店等において、物産観光展を開催し、特産品の販路拡大や観光客の誘致促進により、本県地域産業の発展を図る。	—	1 協会主催物産観光展 国内主要消費地の百貨店等で実施 2 県主催物産観光展 国内5百貨店等において、知事等がトップセールスを行う物産観光展を実施する。	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会 鹿児島県 鹿児島市	
41		1	1	4	3	○			販路開拓推進事業	元年度~	グローバル化の中で、産地間競争や類似商品の氾濫等により市場競争は激化するとともに、消費者ニーズや小売市場は多様化していることから、国内外の市場動向や消費者ニーズの把握、関連業界との連携強化等により有利な市場展開を行い、本県特産品の国内外への販路拡大を図る。	—	1 国内販路開拓 ・商談会やフェア等による小売店等の業態別販売戦略の構築 ・ギフト商品や新商品等のテスト販売など 2 海外販路開拓 ・海外輸出を支援するセミナーの実施 ・海外への輸出可能性調査の実施 3 国内外における観光と連携した商品開発や宣伝販売	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
42		1	1	4	3	○			販路開拓支援事業(鹿児島アグリ&フード金融協議会)	21年度~	鹿児島銀行、南日本銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合、奄美信用組合が構成金融機関となり、南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力を行うことにより、地域の経済活性化に寄与することを目的とする。	—	1 実施方針 引続き南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力を行うことにより、地域の経済活性化に寄与していく。 2 スケジュール (1)H27年7月 「かぎん西原商會商談会インシンガポール」	—	1 実施方針 引続き南九州地域の農業・食料を中心とした産業振興に資する事業等の実施において連携・協力を行うことにより、地域の経済活性化に寄与していく。 2 スケジュール (1)H28年7月 「かぎん西原商會商談会インシンガポール」	継続予定	—	○	鹿児島アグリ&フード金融協議会(鹿児島銀行)	鹿児島銀行、鹿児島相互信用金庫、鹿児島信用金庫、奄美大島信用金庫、鹿児島興業信用組合、奄美信用組合
43		1	1	4	3	○			口蹄疫対策地域活性化事業	23~27年度	口蹄疫の発生により影響を受けた本県地域経済の速やかな回復に向けた必要な施策を実施することを目的として「口蹄疫対策地域活性化基金」を設置してその運用により事業を実施する。	80,760	県内の地域経済活性化対策として助成事業を実施 (1)地域再生・元気づくりイベント等支援事業 ・共生・協働型の商店街活性化事業 12件 ・イベント開催事業 8件 ・プレミアム付地域商品券発行支援事業 3件 (2)本県産食肉の流通支援事業 ・かごしま黒牛・黒豚高付加価値PR推進事業 5件 ・県畜産物販路拡大対策支援事業 1件 (3)観光活性化対策事業 1件	—	—	—	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	県、市町村、商工団体、観光団体等
44		1	1	4	3	○			かごしまの工芸品匠展開催事業	23年度~	本県には、大島紬や薩摩焼、川辺仏壇をはじめ多くの工芸品があり、これらを広く県内外に宣伝・紹介し理解と認識を高めてもらうとともに、需要の喚起による販路拡大を図る。	—	本場大島紬織物協同組合と連携し、一般消費者を対象に本場大島紬の着用機会を創出し、旬の食と伝統的工芸品を楽しむ集いを開催した。	—	継続実施	継続予定	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	県、民間企業等
45		1	1	4	3	○			WIN-WINネット業務	23年度~	弊行の取引先である多くの中小企業・個人事業主が厳しい経営環境にある中、弊行が新たな販路開拓、もしくは事業運営の改善について支援を行うなど、積極的に取引先事業者に関与し、取引先事業者の売上高増加と営業利益の改善を実現させる。	非公開	1、実施方針 弊行の取引先である多くの中小企業・個人事業主が厳しい経営環境にある中、弊行が新たな販路開拓、もしくは事業運営の改善について支援を行うなど、積極的に取引先事業者に関与し、取引先事業者の売上高増加と営業利益の改善を実現させる。	非公開	継続実施	継続予定	—	○	南日本銀行	外部専門機関 外部コンサルタント等
46		1	1	4	3	○			『食の魅力』発見プロジェクト	23~24年度	地方の「優れた食材」に販促の機会とノウハウを提供し、「食の資源」探求に積極的なバイヤーとの商談の機会を創出する。	—	—	—	—	—	—	○	『食の魅力』発見プロジェクト実行委員会(南日本銀行)	第二地方銀行協会
47		1	1	4	3	○			大学は美味しいフェアへの出展	—	例年5月後半~6月にかけて新宿高島屋で開催される食品の物販及び展示会。	—	南大隅町十津川農場と農学部教員の共同研究の成果によるねじめびわ茶を出展	—	出展見送り	継続予定	—	○	鹿児島大学	
48		1	1	4	3	○			そうしん鹿児島うまいもんフェア(イオン九州株との共催事業)	26年度~	地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。マッチングフェア事業等を通じてイオン九州とつながりがあることから、イオン鹿児島ショッピングモールにて開催する。	—	<期間> ①H28年3月19日(土)~3月21日(月)の3日間 <開催目的> 地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。 <会場>イオンモール鹿児島店 <出店企業> ②県内企業	—	継続実施(日程未定)	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
49		1	1	4	3	○			安心・安全な食の認証取得促進事業	26年度～	本県の豊富な一次産品を生かした安心・安全な付加価値の高い商品づくりを促進するため、県内食品製造業者が行う食品の高品質化や食品衛生管理等の認証取得の取組を支援する。	77,356	・HACCP等認証取得に関する講習会の開催 ・食の認証取得の取組に対する助成	80,469	・HACCP等認証取得に関する講習会の開催 ・食の認証取得の取組に対する助成	事業終了	—	◎	県(産業立地課)	
50		1	1	4	3	○			商工会まるごと特産品フェア	26年度～	県内各商工会地域の事業者が開発した「とっておきの逸品」や全国展開プロジェクト等で開発した特産品等及び県内各地域の特産品等を一同に取り揃え、鹿児島市の中でも特に交流人口の多い「JR鹿児島中央駅前」において物産展を開催し、広く消費者に県内商工会地区の特産品の魅力を紹介し、販路拡大につなげることを目的とする。	—	平成27年12月26日～28日の3日間、アミュ広場にて開催。鹿児島・日置・南薩地域6商工会24事業所が参加 かごしま市商工会より 5事業所出店	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島県商工会連合会	
51		1	1	5	1	○			農林水産物地産地消推進事業 →27年度から農林水産物PR事業へ統合	17～26年度	豊富な市内産特産農林水産物を広く市民に紹介するため、「市内産農産物旬のキャンペーン」「食の産地交流会」「旬のクッキング教室」を開催し、旬の味を市民に提供するとともに、産地の紹介や安全への取組・食材の持つ機能性・料理方法等を紹介し、地産地消を推進する。	—	事業統合(農林水産物PR事業へ)	—	—	—	—	○	鹿児島市農産物等流通促進協議会(生産者団体、県、市)	
52		1	1	5	1	○			農林水産物PR事業	27年度～	豊富な市内産の特産農林水産物を市内外の各種イベント、物産展等を通して広くPRを行うことにより、本市農林水産物の生産振興及び消費拡大を図る。	5,882	1. 鹿児島市農産物等流通促進協議会負担金 (1)地産地消の推進 ①市内産農産物旬のキャンペーン(年3回) ②食の産地交流会(年2回) ③旬のクッキング教室(年2回) ④暮れの市 ⑤地産地消宣伝 ⑥そうしん鹿児島うまいもんフェア (2)特産物キャンペーン推進 (3)茶消費拡大対策 2. 桜島ブランド総合販売促進対策協議会負担金 3. 県外PR	5,212	1. 鹿児島市農産物等流通促進協議会負担金 (1)地産地消の推進 ①市内産農産物旬のキャンペーン(年3回) ②食の産地交流会(年3回) ③暮れの市 ④地産地消宣伝 (2)特産物キャンペーン推進 (3)茶消費拡大対策 3. 桜島ブランド総合販売促進対策協議会負担金 3. 県外PR	継続予定	—	○	鹿児島市農産物等流通促進協議会(生産流通課)	
53		1	1	5	1	○			そうしん「うまかもん市」	21年度～	地産地消ネットワークづくりの一環として鹿児島県内の地域産品(農産・水産・畜産・加工品)生産・販売業者の新規開拓と販売機会の拡大をサポートする。マッチングフェア事業等を通じてダイエーとつながりがあることから、全国に先駆けてモデルケース企画として共同開催している。	—	未実施	—	未実施	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	ダイエー
54		1	1	5	1	○			そうしん「小さな産地・地消支援ネットワーク」	21年度～	小規模・零細企業を中心とした農水産物生産者、食品加工業者など支店取引先の食材、農水産物や特産品を僚店間の店頭にて展示・紹介し、販路拡大支援をサポートする。過去13回実施	—	未実施	—	平成28年8月23日(火)大崎町にて実施	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	
55		1	1	5	2	○			「かごしま地産地消推進店」の登録	18年度～	県産農林水産物を積極的に活用している飲食店等を「かごしま地産地消推進店」として登録することを通じて、飲食店等における地産地消の取組拡大や県産農林水産物の消費者への理解促進と消費拡大を推進する。	—	地産地消推進店の登録と支援を実施(登録数 533店)	—	H28年4月に地産地消推進店の登録を実施 今後追加登録を実施予定	継続予定	—	○	かごしまの“食”交流推進会議(事務局:県農政課)	
56		1	1	6	1	○			プロモーション推進事業(企業誘致)	19～25年度	鹿児島の魅力を積極的に発信・アピールし、大会・会議・イベントの誘致、観光客の誘致、企業の誘致、特産品・農産品の販路拡大などにつながる活動を推進する。	—	—	—	—	—	◎	かごしまプロモーション推進室(東京分室)		
57		1	1	6	1	○			九州新幹線全線開業経済効果最大化プロジェクト	22～28年度	九州新幹線全線開業の経済効果を最大限に活用するために、当所が中心となって組織する「九州新幹線全線開業経済効果最大化プロジェクト」との連携を図り、様々な観光振興策を展開する。	—	関西かごしまファンデーへの参加 平成27年4月19日(日) 出展企業 4社	—	関西かごしまファンデーへの参加 平成28年4月17日(日) 出展企業 4社	事業終了	—	○	商工会議所	
58		1	2	1	1	○			観光未来戦略推進事業	18年度～	1 有識者会議等による観光未来戦略の進捗管理・推進(H17～H23) 2 第2期観光未来戦略策定(H22～H23) 3 有識者会議等による第2期観光未来戦略の進捗管理・推進(H24～)	163	第2期鹿児島市観光未来戦略の進捗管理・推進	4,650	第2期鹿児島市観光未来戦略の進捗管理・推進 第3期鹿児島市観光未来戦略の策定	継続予定	—	◎	観光プロモーション課	
59	□	1	2	2	1	○			鹿児島ぶらりまち歩き推進事業	20年度～	ガイドの解説を受けながらまち歩きを楽しめる「鹿児島ぶらりまち歩き」を推進するとともに、市内の主要観光地等でもボランティアガイドによる観光案内が受けられる体制をとり、観光客の受入体制の充実を図る。	24,151	1 まち歩きガイドの実施(24コース) 2 観光地ガイドの実施(12ヶ所) 3 まち歩き観光ステーションでの観光案内 4 よりみちクルーズ船内における観光案内 5 市民向けまち歩きの実施 6 JRウォーク 7 外国人観光客向けまち歩きの実施 8 ボランティアガイドの追加募集	21,600	1 まち歩きガイドの見直し(有料化、コースを16コースへ整理) 2 観光地ガイドの実施(11ヶ所) 3 まち歩き観光ステーションでの観光案内 4 よりみちクルーズ船内における観光案内 5 市民向けまち歩きの実施 6 JRウォーク 7 まち歩きコース、観光地ガイド場所の見直し	継続予定	—	◎	鹿児島観光コンベンション協会	
60		1	2	2	1	○			“美味のまち鹿児島”魅力づくり事業	21～27年度	「食」をテーマにした新たな鹿児島の魅力づくりを行い、県内外への情報発信を効果的に展開していくことを通じて、本市のさらなる観光振興を図る。	12,000	1 “美味のまち鹿児島”薩摩美味維新の実施 2 他団体主催イベントの誘致・支援	事業終了	当初の目的(「食」をテーマにした新たな鹿児島の魅力づくり)を概ね達成したことから、27年度をもって事業を終了。28年度からは民間が主催する食のイベントに助成する制度を新設	—	—	○	“美味のまち鹿児島”づくり協議会(事務局:市観光振興課)	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
61	◎	1	2	2	1	○			"美味のまち鹿児島"づくりイベント支援事業	28年度~	多くの観光客や市民に美味のまち鹿児島を体感し、楽しんでもらうため、民間団体が実施する"食"のイベントに対し助成する。	—	—	4,090	1. 実施方針 同左 2. スケジュール (1) イベントの募集(6月~7月) (2) 助成団体の決定(8月中旬) (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施	継続予定	—	—	観光振興課	
62		1	2	2	1	○			朝を楽しむ観光推進事業	24~25年度	本市の朝の観光素材の掘り起こしを行い、朝の観光素材を活用したモデルコースを作成するとともに、その情報を発信していくことを通じて、本市における滞在型観光の推進を図る。	—	—	—	—	—	◎	朝を楽しむ観光推進実行委員会(事務局:市観光企画課)		
63	□	1	2	2	1	○			観光イベント創出支援事業	25年度~	民間団体が実施する、多くの市民や観光客を呼び込める新たなイベントに対する補助制度を設け、本市の新たなイベントとして定着を図る。	11,059	1. 実施方針 同左 2. スケジュール(当該年度選定分) (1) イベントの募集(4月~5月) 応募件数 新規2件、継続2件 (2) 助成団体の決定(6月) 決定件数 新規1件、継続2件 (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施	16,183	1. 実施方針 同左 2. スケジュール(当該年度選定分) (1) イベントの募集(4月~5月) 応募件数 新規6件、継続3件 (2) 助成団体の決定(6月) 決定件数 新規1件、継続3件 (3) 助成団体によるイベント内容の調整 (4) イベントの実施 新規イベントを追加選定【拡充要素】	拡充	29年度まで新規イベントを採択する。	◎	観光プロモーション課	
64		1	2	2	1	○			薩摩維新ふるさと博開催事業	26年度~	明治維新150年に向けた取組のひとつとして、幕末・維新期の薩摩を感じられるイベント「薩摩維新ふるさと博」を歴史ロード「維新ふるさとの道」において開催する。 <時期> おはら祭前後の3週間程度を予定 <内容> ・歴史ロード出入口での幕末・維新期の偉人等に扮したスタッフによるおもてなし ・郷土芸能、芝居(幕末の様子など)及び「自顕流」演舞の披露 ・当時を感じさせる雰囲気のある飲食ブースの設置 ・「明治維新150年カウントダウン事業」の各年度テーマに沿った展示 など	10,000	<期間> 10月23日(金)~11月15日(日)[24日間] <内容> ・幕末・維新期の衣装を着た「薩摩維新おもてなし隊」によるおもてなし及びパフォーマンスの披露 ・芝居、郷土芸能及び自顕流・薬丸自顕流演舞披露 ・当時の雰囲気を感じられる飲食ブース及び食事コーナーの設置 ・自顕流・薬丸自顕流体験や当時の衣装(簡易)の貸し出し ・「薩摩藩英国留学生」に関する展示コーナーの設置 等	8,000	<期間> 10月23日(日)~11月6日(日)[15日間] <内容> ・幕末・維新期の衣装を着た「薩摩維新おもてなし隊」によるおもてなし及びパフォーマンスの披露 ・芝居、郷土芸能及び自顕流・薬丸自顕流演舞披露 ・当時の雰囲気を感じられる飲食ブース及び食事コーナーの設置 ・自顕流・薬丸自顕流体験や当時の衣装(簡易)の貸し出し 等	継続予定	—	○	薩摩維新ふるさと博実行委員会(事務局:KTS ※市も参加)	
65	□	1	2	2	2	○			グリーン・ツーリズム推進事業	18年度~	<23年度まで> 「鹿児島市みどり豊かな農山村ふれあい推進基本計画」に基づきグリーン・ツーリズムを推進する。 (1) 推進体制の整備 (2) 情報発信 (3) 人材育成 (4) 活動支援 (5) 農業・農村体験交流 <24年度以降> 「鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画」に基づきグリーン・ツーリズムを推進する。 (1) 都市部住民の農村地域における交流促進 (2) 人材の育成と関係団体への支援・連携 (3) 農村地域の魅力の情報発信 (4) 計画の推進	7,183	1 都市部住民の農村地域における交流促進 農家民泊の促進、県外エージェント・県内観光関係者への情報発信、農家民泊の促進、農家民泊体験ツアーの実施、農作業体験学習の促進、棚田の保全、農村体験交流人材バンクの活用 2 人材の育成と関係団体への支援・連携 地域グリーン・ツーリズム推進連絡会の開催、登録団体等の認証・助成、農家民泊の促進、棚田の保全、インストラクターの派遣、インストラクター等への研修、農家民泊や農産物直売所運営に関する専門研修、インストラクター連絡会の開催・研修会、農村体験人材バンクの活用 3 農村地域の魅力の情報発信 ガイドブックの作成・配布、ホームページ・案内板の管理・運営、県外エージェント・県内観光関係者への情報発信、生活情報紙による情報発信 4 計画の推進 推進協議会・推進委員会・地域推進連絡会の開催	7,571	1 都市部住民の農村地域における交流促進 農家民泊の促進、県外エージェント・県内観光関係者への情報発信、農家民泊の促進、農家民泊体験ツアーの実施、農作業体験学習の促進、棚田の保全、農村体験交流人材バンクの活用 2 人材の育成と関係団体への支援・連携 地域グリーン・ツーリズム推進連絡会の開催、登録団体等の認証・助成、農家民泊の促進、棚田の保全、インストラクターの派遣、インストラクター等への研修、農家民泊に関する専門研修、インストラクター連絡会の開催、農村体験人材バンクの活用 3 農村地域の魅力の情報発信 (拡) 農家民泊・民宿ガイドの作成・配布、(拡) ホームページのリニューアル、(拡) 案内板の増設及び管理・運営、県外エージェント・県内観光関係者への情報発信、生活情報紙による情報発信 4 計画の推進 地域推進連絡会の開催	継続予定	—	◎	グリーン・ツーリズム推進課	
66	□	1	2	2	2	○			桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	24年度~	桜島・錦江湾ジオパークにおいて、世界認定を見据えながら、ジオツアーの実施や市民への周知活動を行う。	25,288	1 世界ジオパーク認定への取組 ・APGN山陰海岸シンポジウム出席 ・世界ジオパーク国内推薦申請書作成 2 ジオに関する活動の展開 ・ジオツアー、ジオ講座の実施 ・ジオカフェ、ジオキッズ講座、ジオ出前講座 等 ・シンポジウム、灰フェス等の開催 3 情報発信 ・ガイドマップ増刷 ・缶バッジ、シール等各種広報ツールの作成	34,047	1 世界ジオパーク認定への取組 ・世界ジオパーク国内推薦申請対応 ・世界ジオパークネットワークビューロ招聘 ・ジオパーク国際ユネスコ会議出席 2 ジオに関する活動の展開 ・PR映像、副読本作成 ・ジオツアー、ジオ講座の実施 ・ジオカフェ、ジオキッズ講座、ジオ出前講座 等 ・シンポジウム、灰フェス等の開催 3 情報発信 ・ガイドマップ増刷 ・ポロシャツ等各種広報ツールの作成	拡充	未定	○	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会(事務局:市ジオパーク推進室) ジオパーク推進室	
67		1	2	2	2	○			新幹線全線開業影響等調査事業(産業支援課分)	24年度	九州新幹線全線開業により、事業所、消費者等の動向が変化していると予測されることから、その実態及び変化が本市経済に及ぼす効果・影響等について調査を実施する。	—	—	—	—	—	○	産業支援課		
68		1	2	2	2	○			新幹線全線開業影響等調査事業(観光企画課分)	24年度	九州新幹線全線開業により、本市における観光客の動向が変化していると予測されることから、その実態及び変化を把握するための調査を実施する。	—	—	—	—	—	◎	観光企画課		

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
—:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
69		1	2	2	2			○	ロゲイニングイベント開催支援事業	24~27年度	本市の観光資源である自然や歴史等を活用しチェックポイントを制限時間内に回るロゲイニングイベントの開催を支援する。	0	実績なし	—	—	—	—	○	スポーツ課	
70		1	2	2	2			○	桜島・錦江湾ジオパーク旅行商品造成調査事業	25~26年度	ジオの観点から地域資源の調査等を行い、ジオの魅力を活かした旅行商品の造成のための調査を行う。	—	桜島・錦江湾におけるツアー等の充実を図るため、ジオの魅力を生かしたジオツアーの企画、試験的実施を行った。 ・観光客向けジオツアーの試験的実施	—	—	—	—	○	ジオパーク推進室	
71		1	2	2	2			○	映画撮影等誘致支援事業	25年度~	鹿児島県の魅力の発信につながる映画等に対し助成する。	5,112	1 実施方針 鹿児島県の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成する。 2 スケジュール 映画「ゆずの葉ゆれて」の支援(ロケ経費)	5,742	1 実施方針 鹿児島県の魅力の発信につながる映画や連続ドラマを誘致し、その製作に係るロケ経費及びPR経費に対して助成する。 2 スケジュール 映画「ゆずの葉ゆれて」の支援(PR経費)	継続予定	—	○	観光プロモーション課	
72		1	2	2	2			○	観光地来訪状況調査事業	25年度	第2期観光未来戦略の推進にあたっての基礎資料とするため、湯之平展望所等の観光地において、来訪状況調査を行う。	—	—	—	—	—	—	◎	観光企画課	
73		1	2	2	2			○	着地型旅行商品造成調査事業	25~26年度	市内の観光資源を活かした、体験型・交流型の要素を取り入れた着地型旅行商品の造成のための調査を行う。	—	1 今後の実施方針 同左 2 事業概要 (1)着地型旅行商品の造成 (2)着地型旅行商品の試験的実施	—	—	—	—	◎	観光プロモーション課	
74		1	2	2	2			○	世界遺産推進事業 ※25~27年度は「世界文化遺産登録推進事業」	25年度~	磯地区の異人館などを含む「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録を目指し、構成資産の適切な保存管理と整備活用を図る。また、市民との協働で文化遺産を生かした地域振興を図る。	59,797	1 世界文化遺産登録に向けた関係団体との協議・手続き ・27年5月 イコモス勧告 ・27年7月 ユネスコ世界遺産委員会(ドイツ・ボン)世界遺産登録 2 かがしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 ・ファン拡大イベント、地域魅力アップ活動の実施 ・おもてなし講座等の開催 ・ポスター、マップ・ガイドブック等の作成 3 受入体制整備 ・解説板・案内サインの整備 ・交通アクセス対策(パークアンドライド等の実施) 4 登録記念関連 ・パブリックビューイング、セレモニーの開催 ・登録記念企画展の開催	9,221	1 情報発信、理解増進 ・3資産循環バスツアー、空港連絡バスラッピング広告等 2 受入環境の整備 ・道路案内標識、公衆無線LANの整備等 3 かがしま近代化産業遺産パートナーシップ会議 ・ファン拡大、地域魅力アップ、地域活性化活動の実施 ・おもてなし講座等の開催 ・マップ・ガイドブック等の増刷	拡充 未定	◎	世界遺産推進室	市民団体 NPO法人 大学 事業者 観光・経済団体 行政	
75		1	2	2	2			○	桜島・錦江湾ジオパーク環境整備事業	26年度~	ジオの魅力・特性を生かしたハード整備や主要ジオサイトの説明板整備などを行うことにより、桜島・錦江湾ジオパークの環境整備を行う。	—	—	—	—	—	—	○	ジオパーク推進室	
76		1	2	2	2			○	桜島・錦江湾ジオパーク人材育成事業	26~27年度	「桜島・錦江湾ジオパーク」における世界ジオパークを見据えた取組を推進するため、人材育成を行う。	7,314	<裾野を広げる人材育成> ジオパーク活動の裾野を広げる取組を推進するため市街地側でのジオツアーの造成やジオの魅力を分かりやすく説明できるボランティアガイドの養成ができる人材の育成 <専門員等育成> 桜島・錦江湾ジオパークの専門員になる人材の育成や外国語で桜島・錦江湾ジオパークを説明できる人材の育成	—	—	—	○	ジオパーク推進室		
77		1	2	2	2			○	プロスポーツチーム等活動支援補助金	26年度~	スポーツを通じた観光交流の促進を図るため、市内を拠点とするプロスポーツチームが行う本市の観光PR活動やチームの情報発信力を高める活動等に対し、必要な支援を行う。	6,711	プロスポーツチームへの支援 <交付対象者> ・一般社団法人鹿児島プロスポーツプロジェクト(鹿児島ユナイテッドFC運営会社)…3,711,250円 ・株式会社スポーツフロンティア鹿児島(レノヴァ鹿児島運営会社)…3,000,000円	7,000	プロスポーツチームへの支援 <交付対象者> ・株式会社鹿児島プロスポーツプロジェクト(鹿児島ユナイテッドFC運営会社)…5,000,000円 ・株式会社スポーツフロンティア鹿児島(レノヴァ鹿児島運営会社)…2,000,000円	継続予定	—	○	スポーツ課	
78		1	2	2	2			○	WEB産業観光発信	26年度~	ジェットロでは、インバウンドのヒトの流れとアウトバウンドのモノ・サービスの流れの間に好循環をもたらすことを目的として、海外からの観光客を積極的に受け入れる日本の企業や工場等の施設情報を収集し、それらの情報をジェットロウェブサイト(http://www.jetro.go.jp/en/ind_tourism/)に掲載し、全世界へ向け発信する。	—	ジェットロでは、インバウンドのヒトの流れとアウトバウンドのモノ・サービスの流れの間に好循環をもたらすことを目的として、海外からの観光客を積極的に受け入れる日本の企業や工場等の施設情報を収集し、それらの情報をジェットロウェブサイト(http://www.jetro.go.jp/en/ind_tourism/)に掲載し、全世界へ向け発信する。	検討中	検討中	○	ジェットロ			

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
—:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
79	◎	1	2	2	2				映画「ゆずの葉ゆれて」撮影ロケサポート	27年度	映画「ゆずの葉ゆれて」の喜入ロケ並びに鹿児島ロケを成功させるためにエキストラの手配やスタッフへの炊き出し等撮影がスムーズにいくようサポートする。	—	映画「ゆずの葉ゆれて」の喜入ロケを成功させるために、エキストラの手配やスタッフへの炊き出し等撮影がスムーズにいくようにサポートを行った。	—	—	—	—	○	かごしま商工会喜入支所	
80		1	2	2	3				海外観光客誘致宣伝事業 ※26年度～「東アジア等観光客誘致宣伝事業」及び「外国人観光客受入事業」へ統合	S48～H25年度		関係機関と連携して海外観光客船の受入等を行う。	—	—	—	—	—	◎	鹿児島海外観光客受入協議会(事務局:NPO法人ゆめみなど※市も参加)	鹿児島商工会議所 コンベンション協会 県観光連盟
81		1	2	2	3				外国人観光客受入事業 ※25年度は「外国人観光客受入体制整備事業」として実施(25年度より、受入関連事業を「東アジア観光客誘致事業」から抜粋) ※27年度は「外国人向け無線LAN設置事業」も併せて実施	21年度～	ホテル等の外国語案内表記の整備に対する助成を行うほか、外国人用公共交通ガイドブックの作成等を行う。	9,080	・海外観光客受入体制整備費助成補助金 ・外国語版「食べ歩きマップ」作成事業補助金 ・外国語版「公共交通ガイドブック」の増刷 ・公衆無線LAN環境の整備 ・外国人観光客向け「鹿児島島ぶらりまち歩き」の試験的実施 ・「桜島ARアプリ」による情報発信 ・クルーズ船の受入(入港時における歓迎行事の実施、観光客船寄港広報の実施) ・シャトルバスの運行実験(マリンポートかごしま～天文館)	7,705	・海外観光客受入体制整備費助成補助金 ・外国語版「食べ歩きマップ」作成事業補助金 ・外国語版「公共交通ガイドブック」の増刷 ・公衆無線LAN環境の整備 ・「桜島ARアプリ」による情報発信 ・クルーズ船の受入(入港時における歓迎行事の実施、観光客船寄港広報の実施)	継続予定	—	◎	観光プロモーション課 鹿児島海外観光客受入協議会(事務局:NPO法人ゆめみなど※市も参加)	鹿児島商工会議所 コンベンション協会 県観光連盟 NPO法人ゆめみなど鹿児島
82		1	2	2	3				ウエルカムキュート運営事業 ※H24までは「外国人観光客ウエルカムキュート導入事業」	24年度～	市電、市バス、桜島フェリーの共通券の料金及び観光施設の入館料等が割引される外国人観光客向けのキュートを販売し、外国人観光客の誘致を促進するとともに、回遊性の更なる向上を図る。	8,868	1 公共交通ガイドブックでの広報 2 海外セールスでのプロモーション	6,620	1 公共交通ガイドブックでの広報 2 海外セールスでのプロモーション	継続予定	—	◎	観光プロモーション課	・交通局 ・船舶局 ・鹿児島観光コンベンション協会
83		1	2	3	1				広域観光連携事業	S28年度～	行政区域を越えた他地域の観光資源施設と連携させた広域的なルートづくりや観光宣伝などの共同事業を行う。 また、各種の協議会に、観光関係団体の会員として加入し、全国レベル・県レベルでの観光振興事業の中で本市のPRを行うとともに、各種の情報提供を受ける。	8,726	1 鹿児島県四地区観光連絡協議会 観光キャンペーン、雑誌等記者招聘、パンフレット作成等 2 鹿児島県観光誘致促進協議会 旅行エージェントとの意見交換会、NHKドラマ誘致等 3 観光かごしま大キャンペーン推進協議会 総合集中宣伝、誘客宣伝等 4 その他 九州観光都市連盟・鹿児島県都市観光連絡会議・鹿児島県観光連盟・日本観光振興協会・国際観光振興機構 総会・連絡会議等の開催、各種情報発信等	8,566	1 鹿児島県四地区観光連絡協議会 観光キャンペーン、雑誌等記者招聘、パンフレット作成等 2 鹿児島県観光誘致促進協議会 旅行エージェントとの意見交換会、NHKドラマ誘致等 3 観光かごしま大キャンペーン推進協議会 総合集中宣伝、誘客宣伝等 4 その他 九州観光都市連盟・鹿児島県都市観光連絡会議・鹿児島県観光連盟・日本観光振興協会・国際観光振興機構、鹿児島県教育旅行受入対策協議会、九州地区観光宣伝隊、錦江湾奥会議観光事業 総会・連絡会議等の開催、各種情報発信等	継続予定	—	◎	観光プロモーション課	
84	□	1	2	4	1				姉妹友好都市等との交流事業	—	姉妹友好都市、兄弟都市、その他海外の各都市と交流を行い、相互の友好を深める。 (平成20年度の「姉妹都市等からの来訪者との交流」と「長沙市との交流」を統合したもの。)	30,083	姉妹友好都市ほか海外の各都市からの来訪者との交流 ・姉妹都市等からの来訪者の受入 ・姉妹都市盟約55周年記念訪問団ナポリ市派遣 ・姉妹都市盟約25周年記念訪問団マイアミ市受入	31,591	姉妹友好都市ほか海外の各都市からの来訪者との交流 ・姉妹都市等からの来訪者の受入 ・親善訪問団マイアミ市派遣 ・小学生国際サッカー大会長沙市派遣	継続予定	—	◎	国際交流課	
85		1	2	4	1				さつまルーツプロジェクト	23年度～	ナポリ市近郊を原産地とするトマト「サンマルツァーノ」を活用した商品を開発・販売することにより、姉妹都市であるナポリ市との交流を市民レベルまで広げ、両都市間の友好関係を更に深めるとともに、地域経済の活性化や観光振興に貢献しようとするもの。	—	ナポリ市近郊を原産地とするトマト「サンマルツァーノ」を原材料とした商品(飲料水)を製造・販売。	—	継続実施	—	—	○	NPO法人ぐるっと鹿児島ネットワーク	国際交流課
86		1	2	4	1				こなみずき&サンマルツァーノ商品開発プロジェクト	25年度	平成27年度に鹿児島市・ナポリ姉妹都市盟約55周年を迎えることを踏まえ、ナポリ市近郊を原産地とするトマト「サンマルツァーノ」と鹿児島産さつまいもの澱粉「こなみずき」を原料とするコラボ商品の開発・販売に、JA鹿児島県経済連を中心として取り組み、55周年に向けた機運を高めようとするもの。	—	—	—	—	—	—	○	JA鹿児島県経済連ほか	国際交流課
87		1	2	4	2				アジアとの交流事業	—	(市長のアジア訪問) アジア地域との文化・経済などの多方面において強化するために市長のトップセールスの充実を図る。	0	—	6,164	「東南アジア友好交流訪問」 東南アジアの都市と本市との友好交流と本市のPR。 ・時期:平成29年1月 ・訪問国:タイほか ・参加者:5名(市長、市民代表1、市職員3) 「アジア太平洋都市サミット参加」 ・テーマ:都市におけるの青少年への施策 ・期間:平成28年11月 ・開催地:マレーシア・イポー ・参加者:2名	継続予定	—	○	国際交流課	
88	◎	1	2	4	2				多彩な都市交流事業	—	歴史的につながりのある都市や市長の訪問を契機に交流のきっかけができた都市などに協議団を派遣し、海外の都市との多彩な交流を進める。	—	—	3,000	未定	継続予定	—	—	国際交流課	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
89		1	2	4	2			○	九州縦軸4市観光連携事業	元年度～	九州新幹線全線開業の効果を高めるために、本市と福岡市、熊本市、北九州市で構成する九州縦断観光ルート協議会において、発展著しい東アジアや関西以西地域をターゲットに観光客の誘致促進を図る。	2,500	1 四都市連携観光プロモーション事業(台湾) (1) パートナー旅行社の選定 (2) 台北国際旅行博(ITF)等へのブース出展等 2 プロモーション事業(タイ) 3 中国・上海訪日旅行企画担当者招請事業 4 プロモーションツール作成事業	2,500	1 プロガーによる情報発信(台湾) 2 旅行会社と連携したセミナー講座の実施(台湾) 3 プロガーによる情報発信(中国) 4 個人旅行層に向けた情報発信(タイ)	継続予定	—	◎	九州縦断観光ルート協議会(福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市)	
90	□	1	2	4	2			○	東アジア等観光客誘致宣伝事業 (※「海外観光客誘致宣伝事業」が26年度から「東アジア等観光客誘致宣伝事業」及び「外国人観光客受入事業」へ統合される。)	21年度～	発展著しい東アジア及びアセアンからの観光客誘致を促進するため、効果的なトップセールスのほか、誘致セールス、観光プロモーション等を継続的に実施する。	20,950	1 観光プロモーション(韓国・台湾・上海・香港) 2 トップセールス(韓国) 3 ロッテジャイアーツ鹿児島デー(韓国) 4 誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾、タイ・シンガポール) 5 海外観光客誘致事業補助金 6 さきどり情報の発信 など	18,899	1 観光プロモーション(韓国・台湾・上海・香港) 2 誘致セールス(中国、韓国、香港、台湾、タイ・シンガポール) 3 海外観光客誘致事業補助金の拡充(中国、韓国、香港、台湾、タイ・シンガポール) 4 さきどり情報の発信 など	継続予定	—	◎	観光プロモーション課	
91	◎	1	2	4	2			○	ぐるっと大使館活用事業	28年度～	首都圏にある東南アジアなど世界各国の大使館に向けて、観光情報等の発信を行うとともに、各国大使館とのネットワークの構築を図る。	—	—	620	○大使館訪問 年間10ヶ国程の大使館へ情報提供 ○Let's go 海外! ×Tokyo City i(国内外観光客向けイベント。開催日:H28.7.2 会場:東京シテイアイ)における観光ブースの出展 ○市政報告会を活用した大使館関係者との意見交換(H28.8.31)	継続予定	—	—	東京事務所	
92		1	2	4	2			○	外国人技能実習制度適正化事業	27年度～	外国人技能実習生共同受入事業を行う事業協同組合等(監理団体)並びに組合員(実習実施機関)による不正行為の防止に努めるため、社会保険労務士等の専門家並びに中央会指導員が適正化指導、組合間の情報連携の他、各監理団体に対する適正化に向けた講習会の開催等、新たに組合・組合員が対応すべき事項について確認し、個別に不適正な運営の是正・改善指導を行う。	1,955	・適正化指導事業 監理団体5回、実習実施機関19回 ・適正化講習会 (1)対 象:監理団体等 開催日:平成27年11月24日 テーマ:外国人技能実習生受入事業に係る労務上の留意点について 講 師:社会保険労務士 北野公朗 (2)対 象:監理団体等 開催日:平成28年1月28日 テーマ:外国人技能実習生受入事業の現状と今後の対応について 講 師:全国中小企業団体中央会 労働・人材政策本部労働政策部長 西津康久	1,000	監理団体及び実習実施機関に対し実地指導を実施するとともに、適正化に向けた講習会を2回開催する。	継続予定	—	◎	鹿児島県中小企業団体中央会	
93		1	3	1	1			○	各種貿易関係団体への負担金	S36年度～ S28年度～ H11年度～	貿易関係団体(社団法人鹿児島県貿易協会、公益財団法人日本関税協会、鹿児島港利用促進協議会)に対し、負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図り、地域経済の発展に寄与する。	634	1 実施方針 貿易関係団体に対し負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図る。	448	1 実施方針 貿易関係団体に対し負担金を支出することにより、海外貿易の促進や貿易業者の連携、及び鹿児島港における貿易・観光の促進を図る。	継続予定	—	◎	産業政策課	
94		1	3	1	1			○	日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター助成事業	S46年度～	鹿児島市中小企業振興条例に基づき、日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター(ジェトロ鹿児島)の行う事業(地方貿易情報誌発行、講演会等開催、貿易投資相談、地方貿易振興事業など)に要する費用の一部を助成する。	1,300	1 実施方針 ジェトロ鹿児島が実施する事業に要する費用の一部を助成することにより、市内企業の海外への販路拡大支援や相談機能の充実を図る。	1,300	1 実施方針 ジェトロ鹿児島が実施する事業に要する費用の一部を助成することにより、市内企業の海外への販路拡大支援や相談機能の充実を図る。	継続予定	—	◎	産業政策課	
95	□	1	3	1	1			○	輸出チャレンジ支援事業	24年度～	本市の中小企業者が、海外の輸出を目的に、県、日本貿易振興機構等が主催する合同展示会や見本市等への出展、ミッションに参加する際に要する経費の一部を助成する。(補助率 1/2) 26年度からアジア以外の地域も対象に拡大 28年度から補助年度数、上限額を見直し	1,854	○展示会等への出展経費の助成 助成実績 13件 地域別 東アジア地域(中国・香港) 5件 東南アジア地域(台湾・シンガポール) 2件 北米地域(アメリカ) 5件、UAE 1件 ○セミナーの開催 ジェトロ鹿児島と共催により、食品輸出マーケティングセミナーを開催(1/25-26)	1,608	本市中小企業者の海外での合同展示会等の出展等に対する経費の一部を助成する。(補助率 1/2) <u>28年度より下記の通り、補助限度額・上限額を拡充。</u> ・1～3年度目 20万円 ・4～5年度目 10万円	継続予定	—	○	産業政策課	県、ジェトロ、金融機関等
96		1	3	1	1			○	海外見本市出展支援	—	海外販路開拓を目的として海外の見本市へ出展する企業を支援。	非公開	H27年度 出展支援事業 1.Hofex 2.Taifex 3.Food Taipei 4.Food Expo 6.ANUGA 7.PIR 8.Hongkong International Wine & Spirits 9.Winter Fancy Food Show 10.Gulfood	非公開	・Thaifex ・Food Taipei ・Summer Fancy Food Show ・Food Expo ・Speciality and Fine Food Fair ・Flowers Expo ・SIAL ・PIR ・China Fisheries & Seafood Expo ・International Wine and Spirits ・FHC China ・Winter Fancy Food Show ・Gulfood ・Expo Antad等	継続予定	—	○	ジェトロ	
97		1	3	1	1			○	JAPANブランド育成支援事業	—	鹿児島料理の創造として、鹿児島県産の安心・安全な食材をJAPANブランドとして中国市場へ販路開拓を図るため実施する。	26,165	ドイツ(ベルリン)において黒糖焼酎並びに鹿児島県産黒毛和牛のPRを行った。	—	27年度で終了。29年度に向けて準備中。	拡充	未定	○	鹿児島県商工会連合会	
98		1	3	1	1			○	海外商談会開催事業	—	海外販路開拓を目的として海外の見本市へ出展する企業を支援。		H27.7 香港食品輸出商談会		H28.7 シンガポール食品輸出商談会	継続予定	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	ジェトロ鹿児島

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
99		1	3	1	1			○	そうしんTOBO会	2年度~	海外企業とのビジネスマッチング支援のため、平成2年度から貿易ミッション派遣事業(過去25回開催)を展開している。	—	平成27年12月3日(木)~12月6日(日) 香港	—	平成28年6月15日(水)~6月17日(金) 中国大連	継続予定	—	◎	鹿児島相互信用金庫	
100		1	3	1	1			○	かごしまの食輸出拡大事業 ※H24までは「かごしまの農畜産物等輸出拡大事業」	21年度~	県産農畜産物等の輸出に意欲のある農業団体等への活動支援	2,060	農業団体等に対して支援(補助件数 7件)	2,060	農業団体等の事業要望を取りまとめ中	継続予定	—	○	県農政課	
101		1	3	1	1			○	製造業海外取引支援事業 ※H24までは「製造業アジア圏域販路開拓支援事業」	23年度~	アジアへの販路開拓を図ろうとする県内製造業者を対象に、海外市場動向等に係るセミナーの開催や海外商談会への出展支援、専門家の派遣等を実施し、新たな海外販路開拓を支援する。	7,080	1 海外へ取引拡大を検討中の企業への支援 ・セミナーの開催 ・専門家派遣 ・海外企業との取引可能性現地調査(タイ) 2 海外商談会への出展支援(台湾・インドネシア) ・ブース確保 ・パンフレット作成 ・通訳配置 3 具体的な販路開拓を図る企業への実務支援 ・実務支援	7,690	1 海外へ取引拡大を検討中の企業への支援 ・セミナーの開催 ・専門家派遣 ・海外企業との取引可能性現地調査 2 海外商談会への出展支援 ・ブース確保 ・パンフレット作成 ・通訳配置 3 具体的な販路開拓を図る企業への実務支援 ・実務支援	継続予定	—	◎	県(産業立地課)	
102	◎	1	3	1	1			○	中小企業越境ECマーケティング支援事業	28年度~	・越境EC勉強会の実施 ・海外EC関連サービス事業者とのマッチングイベントの実施 ・海外市場向けEC(モール・独自サイト)に出店する際のサイト構築費用等に対する補助金の実施	—	—	—	・越境EC勉強会の実施 ・海外EC関連サービス事業者とのマッチングイベントの実施 ・海外市場向けEC(モール・独自サイト)に出店する際のサイト構築費用等に対する補助金の実施	継続予定	—	—	中小企業基盤整備機構	
103		1	3	1	2			○	そうしん国内商談会(海外バイヤー招聘事業)	—	そうしん食&アグリビジネス交流会やTOBO会活動を通して、鹿児島県の優れた農産物加工食品を海外に輸出するため、韓国・台湾(中国)・香港バイヤーを招致しての「3ヶ国合同商談会」を開催した。	—	—	—	—	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	
104		1	3	1	2			○	海外バイヤーの招へい及び海外商談会	23年度~	海外バイヤーを招へい及び海外償還会を開催し、地場食品企業とビジネスマッチングを行う。	—	海外日本茶輸出商談会(11月鹿児島)	—	継続実施(ただし、海外日本茶輸出商談会は実施なし)	継続予定	—	○	ジェトロ鹿児島、ジェトロ九州ブロック	
105		1	3	1	2			○	かごしまブランド海外展開推進事業	23年度~	海外における県産品の販路拡大やかごしまブランドの構築のため、フェア開催やバイヤー等の招聘、イメージアップ広告、イベント等におけるPRを行う。	—	1. 食品バイヤー等の招聘(香港・マカオ) 2. ドイツにおける黒糖焼酎、鹿児島和牛及びブリのプロモーション 3. ドイツ飲料関係バイヤーとの商談会 4. ヨーロッパとの「酒と食」の文化交流事業 5. レストラン、ホテル等におけるフェア(香港) 6. アメリカでの広告展開 7. 天皇誕生日レセプションでの県産品PR(香港・シンガポール)	継続実施	—	継続予定	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	経済連
106		1	3	1	3			○	食品輸出促進実証モデル事業	22~26年度	東アジアをはじめとする海外市場へ、本県産の食品の輸出を促進するため、県内外買港から外貨定期コンテナ船を利用して、混載コンテナにより、本県産の食品を輸出する者及び鹿児島空港設備を利用し輸出を行う事業者に対して、輸出に係る経費の一部を助成する。	—	—	—	—	—	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	
107		1	3	1	3			○	中国IT活用促進事業	23~26年度	中国銀聯(中国政府系銀行連合組織)の銀聯カード保有者を対象とした、中国銀聯公式オンラインショッピングモールを開設し、中国での本県特産品の宣伝・紹介及び販路拡大を図る。	—	—	—	—	—	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	民間企業等
108		1	3	1	3			○	トップセールス推進事業	24年度~	香港・シンガポールにおけるアジア最大級の食品見本市に県内機関と一体となった出展を行い、オール鹿児島での県産品販路拡大をサポートする。	—	1. 香港における鹿児島美食フェア 2. 台湾におけるレストランフェア 3. シンガポールにおけるメディアレセプション等	継続実施	—	継続予定	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	特産品協会
109		1	3	1	3			○	クールジャパン推進事業	25年度~	ジェトロが実施するBtoBへの支援を基本とするプロモーションを通じて、コンテンツ、ファッション、デザイン、食品等の分野における日本の魅力ある製品及びサービスを広くPRする。	—	事業概要の通り	—	継続実施	—	○	ジェトロ		
110		1	3	1	3			○	混載貨物輸出業者育成事業	27年度~	食品輸出の振興及び県内外買港の利用促進を図るため、県内食品企業の食品をとりまとめ、混載コンテナの仕立てや貿易書類の作成代行などの役割を担う混載貨物輸出業者を育成する。	—	4社、32件	—	2社以上の鹿児島県産食品を含む海上混載コンテナによる輸出業務を行う県内の貿易事業者、流通事業者及び生産者等を対象に、輸出実績数に応じた額助成を行う。	継続予定	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
111		1	3	1	3	○	○		航空貨物輸出促進事業	27年度~	鹿児島空港における冷凍・冷蔵コンテナの新設にともない、海外市場向け本県産品食品の輸出拡大及び鹿児島空港の利用促進を図るため、鹿児島空港を利用した食品を輸出する者に対して、輸出に係る経費の一部を助成する。	—	1社、1件	—	鹿児島空港貨物ビルに設置された冷凍冷蔵施設を利用した貨物に係る使用料の一部及び陸送費の一部に対し助成を行う。	継続予定	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	
112		1	3	2	1		○		情報活動事業	22年度~	① 貿易情報誌の発行 ② トレードダイレクトリー、会員ガイドブックの発行 ③ メーリングリストによる情報発信	—	1. 貿易情報誌の発行 2. メーリングリストによる情報発信	継続実施	—	継続予定	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	
113		1	3	2	1		○		製造業アジア圏域販路開拓支援事業	24~25年度	今後需要の拡大が期待される中国をはじめとしたアジア各国への販路開拓を目指す県内の製造業者等中小企業者の取り組みについて、販路開拓セミナーの開催や専門家派遣を実施し、アジア圏域への新たな販路開拓を支援する。	—	—	—	—	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	県、大学、公設試等
114		1	3	2	2		○		貿易相談事業	—	各種貿易に関する相談に対する対応	—	372件	—	継続実施	継続予定	—	○	(公社)鹿児島県貿易協会	ジェトロ鹿児島
115		1	3	2	2		○		そうしん海外貿易相談室	24年度~	貿易取引や海外進出を考えている方に、信金中央金庫を始め、各分野の専門家や海外拠点、各国公的機関と連携しながら各種金融サービスや相談業務を行う部署を新設。	—	E-mailでの相談受付、専任担当者による個別企業等訪問などにより、随時相談業務を実施(拡充)海外貿易セミナーの実施 日時:平成27年5月11日 場所:鹿児島市(サンロイヤルホテル) 内容:信金中央金庫海外業務支援部、日本貿易振興機構、当金庫によるセミナー	—	日程未定	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	
116		1	3	3	1		○		鹿児島港港湾整備事業(港湾負担金)	開始年度不明	[概要] 国、県が実施する鹿児島港(重要港湾)の港湾整備事業等に対し、港湾所在都市(受益者)である本市が、根拠法令等に基づき事業費の一部を負担するもの。 [目的] 人・物・情報の行き交う国際性豊かな交流拠点や、健全かつ安心な海洋性レクリエーション基地の整備、物流機能及び臨港交通体系の充実、海とふれあえる魅力ある空間の創出を図る。 [効果] 高度な物流・快適な人流空間や多彩な交流空間、豊かな日常生活空間、多様で高質な産業空間等の形成が促進される。	398,334	○平成27年度実績 ◇新港区 ・航路・泊地(-9.0)(浚渫工) ・岸壁(-7.5)(裏込工、上部工、舗装工、付属工) ・岸壁(-4.5)(据付工、裏込工) ・物揚場(-4.0)(ブロック製作、据付工、裏込工) ・安全対策施設(ボーディングブリッジ)(本体製作、基礎工、据付工) ◇鴨池港区 ・橋梁(第四新港橋)(補修工) ◇鴨池港区 ・可動橋(改良)(補修工) ◇中央港区 ・谷山臨海大橋(補修工) ・臨港道路(補修工、路盤工、舗装工) ・緑地(マリンポートかごしま緑地整備) ・道路(マリンポートかごしま排水工、路盤工、舗装工) ◇谷山二区 ・防波堤(東)(改良)(基礎工) ・岸壁(-7.5)(補修工) ・小型船浮棧橋(腐食対策工)	285,863	○平成28年度予定 ◇本港区 ・岸壁(-5.5)(舗装工、付属工) ◇新港区 ・南防波護岸(改良)(上部工、消波工等) ・岸壁(-4.5)(上部工、舗装工、付属工) ・物揚場(-4.0)(上部工、舗装工、付属工) ・臨港道路(土工、路盤工、舗装工等) ・橋梁(補強)(補修工) ・緩衝緑地(緑地整備) ◇鴨池港区 ・岸壁第二突堤(-4.5)(防食工、舗装工等) ◇中央港区 ・谷山臨海大橋(補修工) ・臨港道路(鴨池中央港区線)(調査、設計) ◇谷山一区 ・岸壁(-7.5)(調査、設計) ・南物揚場(-1.0)(防食工、舗装工、付属工) ◇谷山二区 ・岸壁(-7.5)(調査、設計) ・防波堤(東)(基礎工、上部工) ・岸壁(-9.0)(防食工、舗装工等) ◇浜平川港区 ・小型船溜まり(測量、設計)	継続予定	—	◎	鹿児島港湾・空港整備事務所 県港湾空港課 (市都市計画課)	
117		1	3	3	2		○		青果市場リニューアル事業	22年度~	(概要) 平成24年7月に策定した「鹿児島市中央卸売市場青果市場リニューアル基本計画」に基づき、市場施設の高制度化及び活性化対策を推進し、青果市場の現在地でのリニューアルを行う。 (目的) 市場施設の老朽化や食の安全・安心の確保などに対応する。	1,058,728	○屋根付荷捌場(その2)新築工事の実施 ○自走式立体駐車場の新築工事、既存施設改修工事及び工事の監理 ○ポンプ室受水槽給水設置工事	94,648	○屋根付荷捌場(その3~その5)新築工事の実施 ○卸売場棟仲卸売場改修工事の実施 ○連絡デッキ改修工事及び工事の監理 ○管理棟EV新築工事及び工事の監理	継続予定	—	◎	青果市場	
118		1	3	3	2		○		魚類市場再整備事業	22年度~	(概要) 平成24年3月に策定した「鹿児島市中央卸売市場魚類市場再整備基本計画」に基づき、市場の建て替え及び活性化対策を推進し、魚類市場の現在地での再整備を行う。 (目的) 市場施設の老朽化や食の安全・安心の確保などに対応する。	671,615	○仮設市場棟、ポンプ室、仮設低温卸売場及び井戸等の新築工事 ○市場棟(1期)解体工事及び工事監理 ○仮設関連店舗棟賃貸借	2,601,774	○市場棟(1工区)及び関連店舗棟新築工事 ○市場棟(1期)解体工事及び工事監理 ○仮設関連店舗棟賃貸借	継続予定	—	◎	魚類市場	
119		1	3	3	2		○		食肉センター施設整備事業	8年度~	良質かつ安全・安心な食肉を安定的、効率的に供給できるよう、施設設備の維持更新と衛生基準に適合した施設設備の整備を行う。	105,594	○冷凍冷蔵設備設計業務委託 ○小動物脱毛機取替工事 などの老朽化した機器等の更新	742,324	○冷凍冷蔵設備等更新工事及び工事監理 ○小動物枝肉洗浄機更新工事 などの老朽化した機器等の更新	継続予定	—	◎	産業政策課	
120		1	3	4	1		○		プロモーション推進事業(ポートセールス等) (※事業概要や実施状況は「シティセールス」と合わせて記載してあるため、1.1.6.1.と同じ)	19~25年度	鹿児島島の魅力を積極的に発信・アピールし、大会・会議・イベントの誘致、観光客の誘致、企業の誘致、特産品・農産品の販路拡大などにつながる活動を推進する。	—	—	—	—	継続予定	—	○	かごしまプロモーション推進室 東京分室	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等	
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)					
121	□	2	1	1	1				○	新産業創出支援事業	23年度~	本市の将来を牽引する新たな産業を創出するため、産学官で構成する「新産業創出研究会」を設置し、本市の特性等を生かしたビジネスモデルや推進方策の検討を行うなど、新産業創出に向けた企業等の取組みを促進する。	17,305	1 実施方針 引き続き、ビジネスモデルの事業化へ向け、新産業創出研究会部会を開催し、産学間、企業間等による共同研究開発や地域資源を生かす新製品・商品・サービス等の開発を支援する。 (1)新産業創出研究会の開催(2回) (2)新産業創出研究会部会の開催(7回) ・健康、環境 ・部会会員:59者 (3)新産業創出研究会分科会の開催 ・マーケティング分科会(2回) (4)産業振興アドバイザーの配置(2名) (5)共同研究開発等支援(補助件数:8件)	14,374	1 実施方針 引き続き、ビジネスモデルの事業化へ向け、新産業創出研究会部会を開催し、産学間、企業間等による共同研究開発や地域資源を生かす新製品・商品・サービス等の開発を支援する。 (1)新産業創出研究会の開催 (2)新産業創出研究会部会の開催 ・健康、新事業展開 (3)部会内に新たな分科会を設置(新規) (4)産業振興アドバイザーの配置(2名) (5)共同研究開発等支援(補助件数:6件) (6)分科会等の取組に対するマーケティングの支援 (7)分科会等の取組に対する専門家の派遣	継続予定	—	○	産業創出課	
122		2	1	1	1				○	新産業創出支援事業の受託実施	27年度~	鹿児島市の将来を牽引する新たな産業を創出するため、産学官で構成する「新産業創出研究会」を運営するとともに、同研究会がまとめた鹿児島市の特性等を生かしたビジネスモデルを具体化する事業者や団体等が参加する「健康部会」、「環境部会」を運営し、部下委員の事業化支援を通じて、地域資源を生かす新商品・サービス等の創出に向けた取組みを促進し、鹿児島市商工業の進捗を図る	7,086	1 実施方針 これまで鹿児島市にて実施していた事業を引き継ぎ、ビジネスモデルの事業化へ向け、新産業創出研究会部会を開催し、産学間、企業間等による共同研究開発や地域資源を生かす新製品・商品・サービス等の開発を支援する。 (1)新産業創出研究会の開催 (2)新産業創出研究会部会委員の募集 ・健康、環境 ・部会会員:目標50社 (3)産業振興アドバイザーの配置(2名)	6,739	1 実施方針 これまで鹿児島市にて実施していた事業を引き継ぎ、ビジネスモデルの事業化へ向け、新産業創出研究会部会を開催し、産学間、企業間等による共同研究開発や地域資源を生かす新製品・商品・サービス等の開発を支援する。 (1)新産業創出研究会の開催 (2)新産業創出研究会部会委員の募集 ・健康、新事業展開支援部会 ・「ヘルスツーリズム分科会」「健康アクティビティプログラム分科会」開催 (3)産業振興アドバイザーの配置(2名)	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	
123		2	1	1	2				○	ヘルスケア・ものづくり交流事業	27年度	今後の市場拡大が期待されるとともに、中小企業の進出が大きく期待されるヘルスケア産業について、部材供給・新製品開発双方の視点から、県内モノづくり企業への支援を行い、同産業への参入を支援する。	3,546	1 医療・介護分野における現場ニーズ型ビジネス交流促進事業 ・交流セミナーの開催 ・現場ニーズの収集 2 医療機器産業参入・取引拡大支援事業 ・県外医療機器メーカーや大手医療・介護機器等卸業者訪問による課題把握、情報収集 3 医療・介護等機器開発・販路開拓支援事業 ・試作・研究開発費用の助成(4件採択) ・展示会出展等に係る費用の助成(1件採択)	3,800	1 ヘルスケア関連産業参入推進協議会(仮称)の設立 2 医療機器産業参入・取引拡大支援事業 ・県外医療機器メーカーや大手医療・介護機器等卸業者訪問による課題把握、情報収集 3 医療・介護等機器開発・販路開拓支援事業 ・試作・研究開発費用の助成 ・展示会出展等に係る費用の助成	継続予定	—	○	県(産業立地課)	
124		2	1	2	1				○	環境・新エネルギー産業参入促進事業	24年度	環境・新エネルギー産業への参入を目指す企業を対象に、バイオマスなど地域資源を活用した事業化の可能性や技術的課題等について、フォーラムや事業化検討会を開催し、県内の環境・新エネルギー産業の振興を図る。	—	—	—	—	—	○	県(産業立地課)		
125		2	1	2	2				○	重点業種研究開発支援事業	20年度~	自動車、電子、新成長分野関連産業(環境・エネルギー産業、健康・医療産業、バイオ関連産業)に関する新技術、新製品の開発に要する経費の一部を助成する	9,736	助成件数 ・新規 3件 ・継続 2件	12,999	助成計画件数 ・新規 3件 ・継続 2件	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課)	県大学公設試等
126		2	1	2	2				○	かしん創業プラン大賞	24~26年度	実現させたい事業計画を募集し、表彰する。事業実現後のバックアップ。	—	事業終了	—	—	—	—	○	鹿児島信用金庫	
127		2	1	2	2				○	中小製造業者創業・新分野進出等支援事業	25年度~	地域経済の活性化や雇用機会の確保を図るため、創業や新たな分野への進出、規模拡大に取り組む中小製造業者に対し、経営計画の策定、研究開発、設備投資等を支援する。	114,728	1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・経営計画の策定(2/3以内、800千円/年) ・人材育成(1/2以内、120万円/年) ・試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円)	189,542	1 対象者 創業や新分野への進出、規模拡大に取り組む県内に事業所を有する中小製造業者 2 対象分野 自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連の製造業 3 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)ソフト支援 ・経営計画の策定(2/3以内、800千円/年) ・人材育成(1/2以内、120万円/年) ・試作・研究開発(2/3以内、400万円/年) ・マーケティング・販路開拓(1/2以内、150万円/年) ・専門家の招へい(2/3以内、90万円/年) (2)ハード支援 ・経営計画に基づく製造の用に供する設備投資(新規雇用常用者数3人以上) (設備投資額(下限1千万円)×2%+新規雇用常用者数×30万円、2千万円)	継続予定	—	◎	県(産業立地課)	一部委託先:(公財)かごしま産業支援センター
128		2	1	2	3				○	かしんチャレンジマーケット	24年度~	商品やサービスのPR販売と従業員の“売る気と技術”を磨くとともに、市場を肌で感じる場を提供する。	—	27年 4月15日 27年 6月27日 27年 8月21日 27年10月22日 27年12月29日 28年 2月19日 27年 5月22日 27年 7月 3日 27年 9月11日 27年11月22日 28年 1月22日 28年 3月18日 実施。	—	28年 4月27日 28年 5月6日 28年 5月26日 28年 6月29日 実施済。 年間11回開催予定。	継続予定	—	○	鹿児島信用金庫	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等		
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)						
129		2	1	3	1			○	ベンチャープラザ開催事業	10年度~	ベンチャー企業が開発した新商品・新技術について、企業経営者、金融機関、行政機関等のニュービジネスに興味・関心を持つ者に対する発表の場を提供し、併せて情報交換、商談の場を設けて販路開拓等の取り組みを支援する。	824	年3回実施(5月、11月、2月) ・発表企業は県内企業9社、県外企業3社 ・参加者 304名	1,215	年3回実施	未定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)			
130		2	1	3	1			○	新事業等開拓支援プログラム事業	23~29年度	新たに取り組もうとする研究開発等に対する事前調査(市場調査・成分分析調査等)、新製品の展示会への出展、新用途の調査に要する経費の助成を行う。	9,073	助成件数 ・国内新市場開拓事業 18件 ・海外市場開拓事業 5件	8,000	助成計画件数 ・新事業参入調査支援事業 2件 ・国内新市場開拓事業 10件 ・海外市場開拓事業 2件	未定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	県、大学、公設試等		
131		2	1	4	1			○	企業立地促進補助事業	S60年度~	企業が雇用人員など一定の要件を満たして事業所等を設置する(増設を含む)場合の経費の一部を補助する。 (注1)県立会による市町村との立地協定が必要 (注2)用地等取得後3年以内の操業開始が要件 (注3)補助対象となる設備投資額から、用地取得得費を除く 進出企業が雇用人員など一定の要件を満たして事業所を増設する(設備更新含む)場合の経費の一部を補助する。(H25年度~) (注1)県立会による市町村との立地協定が必要 (注2)進出企業(県外に本社又は親会社がある企業)が対象 (注3)補助対象となる設備投資額から、用地取得得費を除く	607,811	H27年度実績:20件(うち鹿児島市立地企業5件)	1,033,362	継続実施	継続予定	—	○	県(産業立地課)			
132		2	1	4	1			○	環境・エネルギー広域連携事業	23年度~	企業立地法に基づき、わが国の成長分野を対象に、新規立地、付加価値増加、雇用創出を促進するため鹿児島県を含む九州4県で「環境・エネルギー関連産業」の更なる集積と高度化を図るため、情報交換や広域的な連携事業に取り組む。		(計画なし)		(計画なし)	未定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	県、大学、公設試等		
133		2	2	1	1			○	再生可能エネルギー導入促進事業	25年度~	再生可能エネルギーの導入促進を図るため「再生可能エネルギー導入促進行動計画」の策定にあたり、産学官連携による調査・研究を行う。	152	25年度の再生可能エネルギー導入促進研究会からの提言を踏まえ、鹿児島市が取組む方向性や具体的取組を掲げる「再生可能エネルギー導入促進行動計画」を策定した。	0	再生可能エネルギーに対するセミナーを開催する。セミナーは九州経済産業局が自治体と連携して行うセミナーを開催する。 (産学官連携による「再生可能エネルギー導入促進行動計画」の策定は27年度で終了)	継続予定	—	○	再生可能エネルギー推進課	大学等、民間企業、金融機関		
134		2	2	1	2			○	ものづくり企業元気おこし交流事業	25~26年度	県内ものづくり企業の創意工夫を惹起し、新製品開発や販路拡大等の促進によって相互の経営基盤の強化を図っていくため、大学や公設試等との情報共有のものと、異業種間の交流・連携を促進する。		—		—	—	—	○	工業倶楽部	県		
135		2	2	3	1			○	マッチング・コーディネート事業	12~27年度	県内中小企業等の多様なニーズに対応した各事業を円滑に遂行するため、財団法人かごしま産業支援センターにコーディネーターを配置する。	3,900	一般製造関係、経営全般関係へ対応するため、総合コーディネーターを設置し企業者の相談に対応した。	—	—	—	—	—	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(経営支援課)	県、大学、公設試等
136		2	2	3	1			○	そうしんプレーン"21"ビジネスマッチング	24年度~	地域中小企業同士の交流及び新たな受発注の取引拡大を推進するとともに、異業種動向の情報収集に繋がるビジネスチャンスの拡大とプレーン"21"企業の県内外への情報発信を支援する	—	継続実施	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫			
137		2	2	3	1			○	下請企業取引連携促進事業(雇用基金)	25年度	共同受注に向けた企業連携によるグループ化の検討など、下請企業の新たな事業展開を促進し、取引先の開拓と受注機会の拡大を図る。		—		—	—	—	○	県(産業立地課)	委託先:(公財)かごしま産業支援センター		
138		2	2	3	1				野村イノベーションマーケットへの参加	26年度~	野村証券が主催する、大学等で創出された知的財産のデータベースにデータを提供。	—	野村証券と協定を締結し、データの提供を開始	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター			

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
139	□	3	1	1	1	○	○	○	中心市街地活性化推進事業	19年度~	中心市街地活性化基本計画の着実かつ円滑な推進を図るとともに、活性化の状況把握や中心市街地活性化協議会に対する支援等を行うことにより、都市機能の増進及び経済活力の向上を促進する。	5,054	1 計画掲載事業の進捗(2期計画) ■進捗状況(27年度末時点) ○ハード事業 完了:9事業 実施中:12事業 未着手:0事業 ○ソフト事業 完了:6事業 実施中:45事業 未着手:0事業 合計 72事業 2 数値目標の達成状況 ①歩行者通行量(30地点、土日) 基準値(H24年):165,664人/日 目標値(H29年):171,000人/日 最新値(H27年):161,137人/日 ②中心市街地の年間入込観光客数 基準値(H23年):7,762千人 目標値(H29年):8,100千人 最新値(H26年):7,860千人 ③第三次産業の従業者数 基準値(H21年):62,939人 目標値(H29年):64,000人 最新値(H26年):60,565人 3 中活協議会に対する支援等 中活協議会の運営に要する経費の1/2未満を負担する。(商工会議所と折半) ・H27.4.28 第1回中活協議会 ・H27.7.6 第2回中活協議会	3,809	1 計画掲載事業の進捗(2期計画) ■進捗状況(28年6月時点。28年7月末の第5回変更で追加認定予定の事業を含む。) ○ハード事業 完了:9事業 実施中:17事業 未着手:0事業 ○ソフト事業 完了:6事業 実施中:50事業 未着手:0事業 合計 82事業 2 第2期計画の変更 ・第5回変更(H28.7月末認定予定) 追加:10事業、変更:19事業 3 回遊性・満足度調査の実施(H28.11月頃) 4 中活協議会に対する支援等 中活協議会の運営に要する経費の1/2未満を負担する。(商工会議所と折半) ・H28.5.9 第1回中活協議会 ・H28.6.30 第2回中活協議会	拡充	次期計画の策定業務	○	産業政策課	鹿児島市中心市街地活性化協議会
140		3	1	1	1	○			街なかサービス推進事業	24年度~	中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、観光案内、トイレ・ベビーカーの貸出等の街なかサービス及び特産品の情報発信を行う天まちサロンを運営する。	32,044	1 実施方針 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、天まちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示販売などを行う。 2 事業実績 天まちサロン利用者数:85,034人(233人/日) サービス利用件数:66,829件 (1)来街者サービス(ベビーカー貸出、手荷物預かり等) (2)観光情報、特産品等の情報提供 (3)特産品等の展示・販売(売上金額:210,220円) にぎわい創出につながるイベントの実施(6回) (4)空き店舗対策セミナーの開催(H28.2) (5)中心市街地回遊行動調査の実施(H27.9、11)	23,252	1 実施方針 中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、天まちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示などを行う。 2 スケジュール ※下記(1)~(3)は随時実施 (1)来街者サービス(ベビーカー貸出、手荷物預かり等) (2)観光情報、特産品等の情報提供 (3)特産品等の展示	継続予定	—	○	産業支援課	
141		3	1	1	1	○			街なか空き店舗活用事業	18~28年度	中心市街地内の空き店舗の有効活用やまちの賑わい創出のため、空き店舗を活用したテナントミックス事業やチャレンジショップ事業を行う商店街等に対して賃借料や改装費の一部を助成する。	7,227	1 実施方針 空き店舗を活用したテナントミックス事業やチャレンジショップ事業を実施する商店街等を支援 2 スケジュール 商店街等からの申請に基づき随時対応 3 事業実績 (テナントミックス事業) 新規出店 5件 補助件数:商店街事務経費 3件 店舗借上経費 5件 店舗改装経費 5件 (チャレンジショップ事業) 新規出店 0件 補助件数:店舗借上経費 1件	3,471	1 実施方針 28年度から新規募集をしない 27年度申請継続分の店舗借上経費のみ補助 28年度 店舗借上経費 5件 29年度 店舗借上経費 2件(予定)	—	—	○	産業支援課	
142		3	1	1	1	○			かごしま市商工会アンテナショップ運営事業	26~27年度	鹿児島市の「街なか空き店舗活用事業」を活用し、会員事業所のオリジナル商品を集めて販売するアンテナショップを運営する。 <オリジナル商品とは> ①自社で生産(製造・加工) ②自社で企画開発 ③自社名で販売	15,000	全国商工会連合会「アンテナショップによる地域産品等の販路開拓支援事業」として、かごしま市商工会が借主となり天文館に店舗を借り受けて会員事業所から出展された商品等や地域の農産物直売所や生産農家の新鮮野菜を販売するアンテナショップ「ゆめりあ」を運営。 (事業期間は平成27年7月から平成28年2月まで)	—	—	—	—	○	かごしま市商工会	
143		3	1	2	1	○			中小企業振興条例に基づく助成事業(共同施設設置事業)	S48年度~	市内の商店街等が構成員の事業共同化のための共同施設や市民の利便を図るための共同施設(街路灯やアーケード等)を設置した場合に助成する。	30,755	1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時対応 3 事業実績 6団体へ助成	10,387	1 実施方針 商店街からの要望等を踏まえ対応 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時対応	継続予定	—	○	産業支援課	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等	
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)					
144		3	1	2	1			○	明るい商店街づくり支援事業 ※H23年度までは「商店街活性化ソフト対策支援事業」で実施	24年度~	商店街の夜の魅力の創出や消費者が安心して買い物ができる環境づくりのため、市の共同施設設置事業の助成を受けて街路灯等を設置した商店街が維持管理する街路灯などの電気料の一部を助成する街路灯等点灯事業と街路灯等にリース契約により省エネ電球を導入した場合にリース料の一部を助成する省エネ電球導入事業を実施する。	9,354	1 実施方針 商店街の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 年に2回(6月、11月)商店街からの申請に基づき実施 3 事業実績 街路灯等点灯事業 66団体に支援 省エネ電球導入事業 3団体に支援	10,433	1 実施方針 商店街の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 年に2回(6月、11月)商店街からの申請に基づき実施	継続予定	—	○	産業支援課		
145		3	1	2	1			○	ハイアムニティ商店街づくり補助事業	20~24年度	歩いて楽しむ、快適性の高い潤いのある街づくりを支援するため、消費者ニーズの高い緑化や休憩設備の設置、情報提供機能の充実などの環境整備事業を行う商店街に対して助成を行う。 1. 補助対象者 鹿児島商工会議所管内の商店街(法人、任意) 2. 補助対象事業 ①グリーンモール事業 来街者のアメニティ(快適性)や文化向上に資する施設整備及び備品購入 ②タウン事業 情報発信のための施設整備及びソフト開発・購入	—	—	—	—	—	—	—	○	商工会議所	
146		3	1	2	2			○	商店街歩行者通行量調査	S49年度~	本市主要商店街における歩行者の流れや特徴を把握し、その分布状況及び動向を比較分析することにより、今後の商店街の振興を図っていくための基礎資料とする。	—	※隔年での調査のため、27年度は実施しない	7,125	1 実施方針 ・前回と同じ155地点にて実施 2 スケジュール ・平成28年10月13日(木)、15日(土)、16日(日)の3日間にわたり実施	継続予定	—	○	産業支援課		
147		3	1	2	2			○	商店街活性化ソフト対策支援事業 ※平成23年度末で事業廃止 CI戦略推進事業と商店街等交流活性化事業は頑張る商店街支援事業へ統合。明るい商店街づくり推進事業は、単独の事業として継続実施。	13~23年度	商店街が実施するイベント開催事業等のソフト事業に対して助成することにより、商店街や地域の活性化を促進する。	—	—	—	—	—	—	○	産業支援課		
148		3	1	2	2			○	頑張る商店街支援事業	19年度~	商店街等が、独自のアイデアや創意工夫を生かし、商店街の活性化を図るために実施する事業に助成する。	36,357	1 実施方針 商店街の活性化を図るために実施する事業について、商店街の特徴や現状・商店街づくりの方向性に沿った支援を行う。 【補助対象事業】 ・総合支援型:3-5年度間の事業計画を策定し、複数の事業を組み合わせることで商店街づくりを総合的に進める事業 ・個別支援型:フラッグ作成やイベント開催等個別に実施する事業 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時実施 3 事業実績 ・総合支援型 We Love 天文館協議会など計7団体に支援 ・個別支援型 草牟田通り会など計25団体に支援	39,833	1 実施方針 商店街の活性化を図るために実施する事業について、商店街の特徴や現状・商店街づくりの方向性に沿った支援を行う。 【補助対象事業】 ・総合支援型:3-5年度間の事業計画を策定し、複数の事業を組み合わせることで商店街づくりを総合的に進める事業 ・個別支援型:フラッグ作成やイベント開催等個別に実施する事業 [28年度からの変更点] 総合支援型の上限額を500万円から400万円に引下げ 2 スケジュール 商店街からの申請に基づき随時実施 3 事業実績 ・総合支援型 We Love 天文館協議会など計7団体に支援予定 ・個別支援型 草牟田通り会など計30団体に支援予定	拡充	・補助事業に「商店街診断」を追加 ・補助対象者に「3以上の事業者で構成されるグループ」を追加	○	産業支援課		
149		3	1	2	2			○	にぎわい商店街づくり支援事業	19年度~	商店街の経営実態調査、来街者、居住世帯の買物調査、現場診断の結果などを中小企業診断士等が分析し、商店街活性化のための提言や助言を行う。 また、商店街が中心となって「商店街づくり検討会」を組織し、診断士等の助言をもとに、「商店街づくり」の構想・計画などを策定する。	4,158	1 実施方針 「商店街診断」と「商店街づくり計画策定」とに選択できるようにメニューを整備し、事業の利用を促進する。 2 スケジュール ・商店街診断8月~2月 3 事業実績 4団体の事業活用	—	※実施予定なし	継続予定	—	○	産業支援課		
150		3	1	2	2			○	中小企業連携組織等支援事業(組合等連携強化指導事業(商業・サービス業))	23年度~	地域の商業・サービス業者等を対象とした連携強化の推進や人材育成、商店街の連携による新たなサービス、ソフト事業構築への支援を行うことを目的とする。	197	(1)対 象:谷山商店街通り会連合会 開催日:平成27年8月27日 テーマ:商店街のにぎわい創出と組織化の意義 講 師:させほ四ヶ町商店街(協) 理事長 竹本慶三 (2)対 象:鹿児島県旅行業(協) 開催日:平成27年9月10日 テーマ:安売りしないブランド戦略と顧客創造について 講 師:観光庁国際観光課外客誘致室長 佐藤久泰 (有)アイエス通訳システムズ 代表取締役 山崎美智子	212	対象・開催日等未定	継続予定	—	◎	鹿児島県中小企業団体中央会(連携情報課)	県	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
151		3	1	2	2			○	街おこし指導事業	—	商店街の活性化を図るため、まちおこしの先進地のリーダーや専門家を招へいして、講習会や懇談会を実施し商店街の事業運営を側面から支援する。	164	谷山商店街通り会連合会に対する運営指導を実施 ◎会議等 役員会2回・総会1回開催 ◎事業等 第36回谷山ふるさと祭りへの協力、先進地視察研修の実施 ◎講習会 平成27年8月27日、「商店街のにぎわい創出と組織化の意義」と題し、させほ四ヶ町商店街協同組合竹本理事長による講習会を開催した。	177	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会)	
152		3	1	2	2			○	THE商人塾！事業	25年度	商店街の人材育成を通じ、商店街の活性化を図るとともに、商店街内外におけるネットワークの構築並びに情報交換の場を提供する。	—	—	—	—	—	—	○	商工会議所	
153		3	1	2	2			○	商店街を核とした共生・協働型のまちづくり活性化推進事業	21年度～	商店街を核とした共生・協働型のまちづくりの活性化を図るため、商工団体、地域住民、NPO、行政等が連携した推進体制を整備する。	696	商店街魅力アップ促進会議 年に1回の全体会議及び県内7つの地区で意見交換会を実施。	674	商店街魅力アップ促進会議 27年度と同様に、年に1回の全体会議及び県内7つの地区で意見交換会を実施予定。	継続予定	—	○	県(商工政策課)	
154	□	3	1	3	1			○	よか店コラボ支援事業 ※24年度まで「地域密着店連携支援モデル事業」 ※27年度まで「地域のよか店コラボ支援事業」	23年度～	商業・サービス等を営む事業者同士が連携し、各事業者が持つ技能や商品価値などを生かして、商品やサービス等の認知度向上を図る情報発信等を行う取組に対して支援する。	612	1 実施方針 要望を踏まえ対応 2 スケジュール 事業申込に基づき随時対応 3 実施実績 4団体に支援	700	1 実施方針 要望を踏まえ対応 2 スケジュール 年2回募集(1回目:5月～6月、2回目:9月～10月) ※拡充内容 ・補助対象者の要件を緩和し、補助限度額を引き上げた。	継続予定	—	○	産業支援課	
155		3	1	3	2			○	地域繁盛店づくり支援事業	23年度～	実践的なセミナーと店舗での指導を組み合わせた研修会を開催し、地域商業の中核となる繁盛店を育成することにより、商店街全体の活性化につなげる。	1,823	1 実施方針 継続実施予定 2 スケジュール 9月～2月に重点的にセミナーと臨地指導を重点的に実施した。 3 実績値 (26年度) 受講者:7名 回数:7回(セミナー形式3回、臨地指導4回)	1,882	1 実施方針 継続実施予定 2 スケジュール 9～2月にセミナーと臨地指導を行う予定。	継続予定	—	○	産業支援課	
156		3	1	3	2			○	商人塾 創業塾	—	短期・集中型の研修講座として、商業・サービス業における人材の育成を図るため「商人塾」を、創業の取組を支援するため「創業塾」を実施する。	2,072	商人塾 6回講座 42名受講 創業塾 6回講座 42名受講	2,240	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
157		3	1	3	2			○	商店街交流事業	22年度～	先進地視察・交流	588	(27年度事業実績) 視察交流先 ①観音寺商店街連合会(香川県観音寺市) ②高松丸亀町商店街振興組合(香川県高松市) ③岡山市表町商店街連盟(岡山市)	660	視察交流先(案) ①谷中銀座商店街振興組合(東京都台東区) ②二子玉川再開発組合(東京都世田谷区) ③モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合(神奈川県川崎市)	継続予定	—	◎	鹿児島県商店街振興組合連合会	鹿児島市
158		3	1	3	2			○	商店街振興組合指導事業 (鹿児島県補助事業)	22年度～	商店街振興組合役員・組合員を対象とした研修会の開催、情報提供を行う。	1,381	(27年度事業実績) (1)商店街活性化研究会(3回) ①商店街の魅力再発見 ②商店街活性化戦略 ③商店街連携交流戦略 (2)商店街人材育成研修会(3回) ①後継者の育成 ②次代の商店街リーダーの育成 ③組合事務局の人材育成 (3)商店街情報誌「街づくり・かごしま」の発行(3回)	1,413	(27年度事業実施予定) (1)商店街活性化研究会(3回) ①商店街の効果的な事業支援 ②商店街活性化戦略 ③商店街連携交流戦略 (2)商店街人材育成研修会(3回) ①後継者の育成 ②次代の商店街リーダーの育成 ③組合事務局の人材育成 (3)商店街情報誌「街づくり・かごしま」の発行(3回)	継続予定	—	◎	鹿児島県商店街振興組合連合会	鹿児島県
159		3	1	3	2			○	みせづくりブラッシュアップ事業	25年度～	小規模事業者が抱えている様々な経営課題の改善・解決を支援するため各分野の専門家を横断的に派遣する。	—	・支援件数0件 延指導回数0回	—	継続実施	未定	—	△	商工会議所	
160		3	1	3	2			○	中小・中堅企業専門家派遣事業	26年度	商工会議所において経営課題の解決を図る小規模事業者へ中小企業診断士や税理士等の専門家を派遣する事業を行っているが、同様に経営課題を抱える中小・中堅企業に専門家を派遣し、経営課題の解決を図る。	—	—	—	—	—	—	△	商工会議所	
161		3	1	3	2			○	かしん経営大学公開講座	27年度～	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、市役所等の職員と地域住民を対象に講座を開催し、プロジェクトの提案を行う。	—	県内の各地域で8回実施 6/5、6/19、7/9、7/23、8/26、10/2、10/22、10/23	—	かしん経営大学を開講、地域ごとに募集した一般、市町村職員により独自の総合戦略の立案を行い、「地方創生アイデアコンテスト」への応募を目標とする。年8回講義を開催予定	継続予定	—	○	鹿児島信用金庫	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
162		3	1	4	1			○	元気の出る中小企業支援事業	7年度~	商工業の事業協同組合や商店街、中小企業者で組織するグループが開催する研修会等に講師を派遣する。	922	1 実施方針 対象団体の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 対象団体の申請に応じ研修会を開催 3 事業実績 WeLove天文館協議会など計10団体に派遣	1,238	1 実施方針 対象団体の要望を踏まえ対応 2 スケジュール 対象団体の申請に応じ研修会を開催	継続予定	—	○	産業支援課	
163		3	1	4	1			○	高い情報発信支援モデル事業	26~27年度	事業協同組合等又は同業種若しくは関連業種の中小企業者のグループが商品(製品)やサービス等の認知度向上を図る情報発信等の取組に対し、経費の一部を助成する。 <補助対象経費> ・広告宣伝に必要な経費 ・イベントの実施に直接必要な経費 ・委託料等事業の実施に直接必要な経費 ・事務経費等 <補助率と補助限度額> 補助対象経費の1/2、10万円以上50万円以下	800	1 実施方針 要望を踏まえ対応 2 スケジュール 事業申込に基づき随時対応 3 実施実績 2団体に支援	—	※平成26年度から2年間モデル事業として実施	—	—	○	産業支援課	
164		3	1	5	1			○	ソーシャルビジネス促進事業	23年度~	ソーシャルビジネスに関するセミナー等の開催により、市民や企業等のソーシャルビジネスへの理解と関心を深め、事業者が活動しやすい事業環境の醸成、担い手の育成を図るとともに、アドバイザーの派遣等により事業者を育成・支援し、ソーシャルビジネス(SB)の成長を促進する。	1,022	新規創業者等育成支援事業と一括して鹿児島相互信用金庫に業務委託(H25.7~) ①SB事業者への助言指導(IM対応) ②アドバイザーの派遣(4件) ・経営・財務・人材育成等に関する専門家をSB事業者からの依頼に応じて派遣し、助言・指導等を行う。	652	新規創業者等育成支援事業と一括して鹿児島相互信用金庫に業務委託(H25.7~) ①SB事業者への助言指導(IM対応)	継続予定	—	○	産業創出課	関係機関、民間企業等
165		3	1	5	3			○	市民とつくる協働のまち事業	18年度~	市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する。	3,601	1 実施方針 市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成した。 2 実績 補助金額 3,601千円 補助団体数 11件	3,192	1 実施方針 市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、公益的なサービスを提供する市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する。 2 スケジュール 平成28年4~5月 事業募集 平成28年6月 選考審査会、採択決定 平成28年6月下旬~平成29年3月 事業実施	継続予定	—	○	NPO、町内会等の市民活動団体	
166		3	2	1	1			○	「メイドインかごしま」支援事業	24年度~	本市中小企業(製造業者等)の新製品開発等の経営力の強化や商品の販路拡大の取組を支援する。	24,504	1. 実施方針 継続実施 2. 事業実績 ※「経営力強化補助」「販路拡大推進補助」それぞれの支援区分を再編する。 ① 経営力強化補助: 8件 ② 新製品等支援補助: ・新製品等開発: 4件 ・新商品販路開拓: 10商品 ③ 販路拡大推進補助: 37件(札幌及び神戸での物産展支援を含む)	10,540	1. 実施方針 継続実施 2. 市内の製造業者等からの申請に基づき随時対応。 ① 経営力強化補助 ② 新製品等支援補助 ③ 販路拡大推進補助	継続予定	—	○	産業支援課	
167		3	2	1	1			○	商品開発デザイナー育成支援事業 ※H25からは「クリエイティブタレント育成支援事業」へ	24年度	市内デザイナーや製造業者等を対象に、デザインが商品にもたらす効果をテーマとした講座を開催することで、デザイナーの商品デザイン制作技術の向上を図るとともに、事業者のデザイン面における事業革新等を促進する。	—	—	—	—	—	○	産業創出課		
168	□	3	2	1	1			○	クリエイティブ産業創出支援事業 ※H26まで「クリエイティブタレント育成支援事業」	25年度~	市内デザイナーのスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、新たにデザインコンテストを開催するとともに、デザイン関連講座を充実し、デザイン産業の人材育成や本市商工業者のマーケティング力の向上及び製品等の競争力強化を図る。	12,987	1. 「かごしまデザインアワード2015」の開催 ・課題提供企業: 7者 (企業課題部門: 5者、パブリック課題部門: 1者、学生部門: 1者) ・応募作品数: 467作品 ・受賞作品数: 9作品 2. デザイン関連講座の開催 ・開催回数: 8回 ・参加者数: 延べ127名 3. クリエイター向け首都圏UIターンイベントの開催 ・開催回数: 1回 ・参加者数: 19名 4. かごしまクリエイターズオーディションの開催 ・開催回数: 1回 ・参加者数: 企業26者、発表クリエイター15名 5. 受賞作品の商品化支援、マッチング機会の提供(テストマーケティング) ・開催回数: 1回(東京) ・参加者数: 企業6者	12,616	1. 「かごしまデザインアワード2016」の開催 ・課題提供企業: 6者 (企業課題部門: 4者、パブリックデザインコンペ(新規): 1者、学生部門: 1者) 2. デザイン関連講座の開催(6回) 3. かごしまクリエイターズオーディションの開催(1回) 4. 受賞作品の商品化支援、マッチング機会の提供	継続予定	—	○	産業創出課	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
169		3	2	1	1			○	ものづくり重点業種支援事業	20年度~	本県の重点業種である自動車・電子・食品・新成長分野関連産業の振興を図るため、企業の行う研究開発、人材育成、販路拡大等の取組を一体的に支援する。	13,486	・企業が行う新技術・新製品の研究開発に対する支援 ・対象業種:自動車・電子・新成長分野 ・補助率:2/3以内 ・かごしま産業支援センターに委託 ・企業の行う人材育成、販路拡大等への支援 ・県外企業等への派遣助成 ・採択2件 ・TPS研修会等の開催 ・九州内における広域的連携組織への参画	17,175	・企業が行う新技術・新製品の研究開発に対する支援 ・対象業種:自動車・電子・新成長分野 ・補助率:2/3以内 ・かごしま産業支援センターに委託 ・企業の行う人材育成、販路拡大等への支援 ・TPS研修会等の開催 ・九州内における広域的連携組織への参画	継続予定	—	○	県(産業立地課)	一部委託機関: (公財)かごしま産業支援センタ
170		3	2	1	1			○	大島紬小柄文様の着姿シミュレーションに関する研究	23~24年度	小柄平織組織を立体的に表現する手法と、現代の洋服感覚を生かした色を使用することで大島紬小柄着姿シミュレーションシステムを確立し産地の活性化を図るものである。	—	—	—	—	—	—	○	県(工業技術センター)	
171		3	2	1	1			○	大島紬光輝性緋の研究	23~25年度	派手さを強調した光輝性のある緋と新規洋装用緋糸を開発し洋装化への対応を図るものである。	—	—	—	—	—	—	○	県(工業技術センター)	
172	◎	3	2	1	1			○	・ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金(H27補正) ・ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(H26補正) (ものづくり・商業・サービス革新補助金(H24補正~H25補正))	24年度~	国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。	49,945	1. H25補正採択企業に対する確定検査・補助金交付 2. H26補正における公募及び採択企業に対する中間検査、確定検査 等	141,000	1. H26補正採択企業に対する確定検査・補助金交付 2. H27補正における公募及び採択企業に対する中間検査、確定検査 等	継続予定	—	◎	県中小企業団体中央会	中小企業庁、認定支援機関
173		3	2	1	1			○	2段ろくろ開口装置による洋装化繊維物の研究	25~26年度	2段ろくろ開口装置を備えた織機は、多様な繊維物が製作可能であり、2段ろくろ開口装置を利用して大島紬の製造技術を生かした大島紬の洋装化製品の需要拡大を図る。	—	—	—	—	—	—	○	県(工業技術センター)	
174		3	2	2	1			○	特産品宣伝事業	—	特産品ガイドブックを作成・配布し、市内の優れた特産品をイベントなどあらゆる機会を利用し、市民はもとより県内外の多くの人々に紹介・宣伝し、需要の拡大と販路の拡大を図る。	2,706	1 実施方針 ①特産品ガイドブック作成:20,000部 ②特産品ガイドブックの配布 2 スケジュール 年間を通して実施	2,677	1 実施方針 ①特産品ガイドブック作成:20,000部 ②特産品ガイドブックの配布 2 スケジュール 年間を通して実施	継続予定	—	○	産業支援課	
175		3	2	2	1			○	伝統的工芸産業の活路開拓支援事業	S55年度~	伝統的工芸産業の産地組合が行う活路開拓事業に必要な経費を補助することにより、本市の伝統的工芸産業の振興を図る。	2,810	1 実施方針 継続実施 2 スケジュール (1)本場大島紬宣伝事業実施(10月~3月) (2)第10回ふれあい竹のいち開催(5月) (3)「薩摩焼フェスタ」開催(11月)	2,810	1 実施方針 継続実施 2 スケジュール (1)本場大島紬宣伝事業実施(10月~3月) (2)第11回ふれあい竹のいち開催(5月) (3)「薩摩焼フェスタ」開催(11月)	継続予定	—	○	薩摩焼フェスタ実行委員会 (鹿児島県薩摩焼協同組合、鹿児島市、鹿児島県、日置市、霧)	産業支援課
176		3	2	2	1			○	大島紬アンテナショップ運営事業 (鹿児島県ふるさと雇用再生特別基金) ※織姫館の機能は街なかサービス推進事業に引き継ぎ、大島紬の情報発信を行う。	21~23年度	多くの市民や観光客が訪れる中心市街地において、大島紬アンテナショップを運営することで、継続的な雇用創出を図り、日常的かつ継続的に本場大島紬に関する情報発信を行うことにより、その消費拡大につなげ、業界全体の活性化を図る。また、消費者の反応を調査することで、新商品開発に役立てる。	—	—	—	—	—	—	○	産業支援課	
177		3	2	2	1			○	かごしまのいいもの情報発信支援事業	25~26年度	ものづくり中小企業の製品の認知度向上及び販路拡大を図るため、かごしまのいいもの(製品)の情報を収集し、雑誌やテレビ番組等で紹介されるように首都圏のメディア等に向けて情報発信を行うとともに、企業のメディア等に向けた広報活動に対する助言・指導を行い、広報スキルの向上を図る。	—	—	—	—	—	—	○	産業支援課	
178		3	2	2	1			○	かごしまのモノ作り体験学習支援事業	17~24年度	県内高校生等を対象に、県特産品の歴史やブランドショップでの販売体験、工場見学・研修を通じ、本県特産品に対する若者の理解と認識を深めてもらい、将来的な需要拡大に繋げる。	—	—	—	—	—	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
179		3	2	2	2			○	ビジネスマッチング支援事業	—	県内中小企業の取引先開拓、販路開拓を支援するために県内外の発注企業を招へいし、県内受注企業との個別面談、交流懇談会を実施する。	1,885	平成27年度かごしま取引商談会 ・日時:平成26年10月27日(火) ・参加企業:発注企業 30社 受注企業 55社 ・実績:商談成立件数 13件 初回取引金額 16,067千円 ミニ商談会を2回開催	2,954	かごしま取引商談会を1回開催予定 ミニ商談会を2回開催予定	未定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(取引振興課)	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
180		3	2	2	2			○	新市場販路開拓助成事業	14~27年度	製品等の販路開拓を図るため、県外展示会に支援センターが出店コマを確保し、共同出店を行う。	2,453	インターネットコンジャパン2016への出展 ・平成28年1月13日~15日 ・県内企業3社の製品展示 スーパーマーケットトレードショー2016への出展 ・平成28年2月10日~12日 ・県内企業4社の製品展示	—	—	—	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	県、大学、公設試等
181		3	2	2	2			○	そうしん食&アグリビジネス交流会	20年度~	鹿児島県内の農畜産物・水産物生産者およびこれらの食品加工業者の販路拡大支援として、過去大小7回の商談会を実施した。また、平成23年度からは、鹿児島の豊富な食と観光資源をまるごと広くPRし、多様な販路開拓支援を行うとともに、バイヤーや旅行エージェント等に、食と観光の情報発信と交流の機会を提供する商談会を開催している。	—	平成27年10月9日(金)、鹿児島市(サンロイヤルホテル)にて開催	—	平成28年10月28日(金) 曾於市末吉総合体育館にて開催	継続予定	—	◎	鹿児島相互信用金庫	
182		3	2	2	2			○	販路開拓支援事業	22~23年度	地域資源等を活かした新商品、新技術、新サービスの創出に取り組む中小企業の域外への販路づくりを支援するため、首都圏で開催される全国規模の展示会等に出展し、地元中小企業における地域資源を活用した新商品の新市場や販路の開拓を支援する。	—	—	—	—	—	—	○	商工会議所	
183		3	2	2	2			○	JETRO WEBサイト(J-File)、メールマガジン(さくら通信)による情報提供	25年度~	ジェトロが実施するイベントや関係機関等が主催するイベントについて定期的に情報発信を図り、ジェトロのサービスを幅広くPRする。	—	事業概要の通り	—	継続実施	継続予定	—	○	ジェトロ	
184		3	2	2	2			○	新規販路開拓支援事業	26年度~	県外で開催される展示会に、当センターブースを確保し、出展を希望する県内中小企業に展示スペース提供して、新規販路開拓を支援する。	8,832	第19回機械要素技術展(東京ビッグサイト)へ出展 ・出展企業 6社 ・実績 商談成立件数 9件 初回取引金額 21,721千円 第18回機械要素技術展(インテックス大阪) ・出展企業 4社 ・実績 商談成立件数 5件 初回取引金額 1,095千円	10,326	第20回機械要素技術展(東京ビッグサイト)へ出展予定 第19回機械要素技術展(インテックス大阪)へ出展予定 第11回メッセナゴヤ2016(ポートメッセなごや)へ出展予定	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(取引振興課)	
185		3	2	2	3			○	IT活用による市場拡大支援事業	25年度	特産品の市場拡大を支援するため、これらの特産品に関する情報をタイムリー且つ的確に流通関係者へ提供するとともに、特産品の商品情報並びにバイヤー等をデータベース化し、インターネット上での商談の場を創出する。	—	—	—	—	—	—	○	公益社団法人鹿児島県特産品協会	
186		3	2	2	3			○	J-GoodTech	26年度~	・中小企業と大手・海外企業を結ぶ、ビジネスマッチングサイト ・優れた技術や製品を有する日本の中小企業が集結したウェブマッチングサイト『J-GoodTech(ジエグテック)』日本の優れた製品・技術.com』をオープンする。 現在、我が国には日本のものづくり産業を支える中小製造業が約45万社存在します。この中にはいわゆるニッチトップやオンリーワン企業と言われる優良な中小企業が数多く存在します。これらの優良企業を日本の大手メーカーや海外企業に紹介することで、新たな取引や技術連携を促進し、日本産業全体でのイノベーションに貢献することを目指す。	—	・掲載企業募集 ・マッチング実施	—	(予定) ・掲載企業募集 ・マッチング実施	継続予定	—	○	中小企業基盤整備機構	
187		3	2	3	1			○	かごしま異業種交流支援事業	24~25年度	(支援の概要) 平成24,25年度はソーシャルメディア活用研究会の活動を支援(目的、効果等) Facebook、Twitterに代表されるSNSやブログなどのソーシャルメディアをビジネスとして有効活用したい中小企業がソーシャルメディア技術と情報の受発信のノウハウを習得し、その活用を研究する中で、異業種交流による新たなビジネス展開を推進することを目的とする。 【効果】 異業種との交流により、研究テーマに沿った具体的なノウハウ・製品・サービス等を生み出す	—	—	—	—	—	◎	事業者、鹿児島県中小企業団体中央会(組織振興課)、市(産業創出課)		
188		3	2	3	1			○	鹿児島ビジネス市場	17~23年度	取引先の拡大や技術提携、共同開発などのビジネスチャンスを創出することを目的に、交流のテーマを設定し、テーマに関心のある企業を集めて、商品・技術のプレゼンテーションや交流会を開催する。	—	—	—	—	—	—	○	商工会議所	
189		3	2	3	1			○	食品加工技術強化事業	26年度~	県内の食品製造業、機械製造業の現状を調査し、産学官が連携して行う食品製造業の加工力向上及びそのための機械設備の研究開発を支援する。	16,667	・食品製造業及び機械製造業の現地調査 ・共同研究の促進 ・ラボツアーの開催 ・農工商等連携実践セミナー 等	19,866	・食品製造業及び機械製造業の現地調査 ・共同研究の促進 ・ラボツアーの開催 ・農工商等連携実践セミナー 等	事業終了	—	○	県産業立地課	
190		3	2	4	1			○	産学官事業化研究会支援事業	13~27年度	大学等の研究シーズをもとに、その事業化を目指す産学官の連携による研究会に要する経費の一部を助成する。	101	1研究会に対し助成を実施	—	—	—	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課)	県、大学、公設試等

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
191		3	2	4	1			○	技術相談会	19年度~	中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、㈱鹿児島TLOと連携して技術相談・技術提携などの相談会を実施する。	—	1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、㈱鹿児島TLOと連携して技術相談・技術提携などの相談会を実施する。 2 スケジュール ①平成28年2月「第9回技術相談会」を実施 13社参加	—	継続実施	継続予定	—	◎	南日本銀行	㈱鹿児島TLO
192		3	2	4	2			○	新事業研究開発助成事業(H24までは研究開発助成事業)	S58年度~	研究開発型企業等が行う、新技術・新製品等の開発・試作に要する経費の一部を助成する。	5,503	助成件数 2件	3,200	助成計画件数 1件	未定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課)	
193		3	2	4	2			○	地域技術提携起業化事業(H24は地域技術起業化助成事業)	2~27年度	地域の4社以上の中小企業等のグループが行う、新技術または新製品の起業化に要する経費の一部を助成する。	—	助成実績無し	—	—	—	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産学官連携課)	
194		3	2	5	2			○	売場づくり支援事業	—	主に小売業での現場改善策を模索している小規模事業者、大企業等で実際に改善を担当してきた経験豊富な専門家等を企業に派遣し現状分析と具体的な改善策の提案、実施までを支援する。	—	6事業所・指導回数6回	—	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
195		3	2	5	2			○	専門家派遣事業	12年度~	創業者や経営革新を図る中小企業者が抱える経営、情報化、販売、マーケティング等のさまざまな問題に対して、当センターに登録している民間の専門家を派遣し、診断助言を行う。	4,315	企業に対する専門家の派遣 12社 76回実施	4,887	企業に対する専門家の派遣 12社 83回(予定)	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(経営支援課)	
196		3	3	1	1			○	ソフトプラザかごしま管理運営事業	14年度~	本市情報関連産業の育成や地元中小企業の情報化を図るため、ソフトプラザかごしまの円滑な管理・運営を行う。	28,066	入居用施設入居状況(H28.3末現在) 全24室中15室入居 (県内枠:4室、誘致枠:8室、大学等枠:3室)	29,279	継続実施	継続予定	—	○	産業創出課	
197	◎	3	3	1	1			○	クリエイティブ人材誘致事業	28年度~	本市の都市機能の集積を生かし、製品等の高付加価値化の促進や新たな価値を創造するクリエイティブ産業の創出を図るため、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致し、産業集積を促進することにより、豊かで持続性の高いクリエイティブシティかごしまの実現を目指す。	—	—	4,197	1 Uターン施策 ・首都圏でのUターンイベント開催 ・お試し移住イベント開催 2 移住に関する補助金 ・移住交通費補助 ・事務所改修費等補助	継続予定	—	—	産業創出課	
198	◎	3	3	1	1			○	ソフトプラザかごしまリニューアル事業	28年度~	創造的な新事業展開や新規創業をさらに促進し、地域産業の競争力強化を図るため、ビジネス・インキュベーション施設として、求められる役割や機能を整理し、リニューアル整備・運営基本計画を作成する。	—	—	996	平成30年度供用開始に向けて、リニューアル整備・運営基本計画の作成を行う。 ・基本計画素案のパブリックコメント実施 ・基本計画の策定 ・来年度以降の設計・工事のスケジュール調整、準備	継続予定	—	—	産業創出課	
199	□	3	3	2	1			○	企業立地推進事業	S61年度~	【目的】 市外企業の誘致や地元企業の増設等による企業立地を戦略的に推進し、本市商工業の振興、ひいては雇用の拡大及び確保に繋げる。 【概要】 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 <重点産業> ・食関連産業 ・成長分野に関連する新産業 ・都市機能の集積を生かした産業 <取組み> ・優遇制度の充実、企業の人材確保支援等 ・情報収集及びPR、企業訪問等	156,093	1 実施方針、スケジュール 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 ・展示会への出展:27年7月 ・企業訪問:随時 ・企業視察案内(学校、ハローワーク等) 2 立地協定:5社	189,877	1 実施方針、スケジュール 「鹿児島市企業立地推進方策」に基づき、重点産業の立地に向けた取組みを実施する。 ・企業立地促進補助金の制度拡充(28年4月) ・展示会への出展:28年11月 ・企業訪問:随時 ・ハローワークとの連携による企業説明会(新規) ・企業視察案内(学校、ハローワーク等) 2 立地協定:6社(平成28年9月2日現在)	拡充	・立地企業等サポート・魅力発見の取組等	○	産業創出課	
200		3	3	2	1			○	コールセンターの魅力発見事業	25~26年度	鹿児島市企業立地推進方策に基づき、本市が重点的に取り組んでいるコールセンターの誘致にあたり、従業員の採用支援などを行うことで、魅力ある立地環境づくりを進め、あわせて、就業機会の拡大を図る。	—	—	—	—	—	—	○	産業創出課	
201		4	1	1	1				講習会・講演会	—	商工業者の事業発展に必要な企業経営に関わる知識や技術など様々なテーマに関する情報を提供する	6,107	45講座開催、2,418名受講	5,920	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
202		4	1	1	1				講習会・講演会	継続	鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図ることを目的とする。	2,319	講習会の開催による指導 集団指導4回177事業所、個別指導34回483事業所	2,500	継続実施。日程未定	継続予定	—	○	かごしま市商工会	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
203		4	1	1	1				エキスパートバンク事業	—	経営や技術など様々な専門的課題を抱えている小規模事業者を支援するため、専門的な技術・ノウハウ等を有する各分野の専門家や企業OBを直接事業所に派遣し、具体的かつ実践的なアドバイスを行い問題解決を図る。	5,970	・168事業所 ・延指導回数202回	6,000	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
204		4	1	1	1				エキスパートバンク事業	—	小規模事業者が必要とする専門的・実践的技術・技能習得について、深い知識・実技・経験を有する専門家(エキスパート)を派遣し、具体的・実践的な事項について適切な指導・助言を行い、事業者の経営資質向上をめざす。	—	13事業所 延べ33回実施	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会)	
205		4	1	1	1				南友会の運営	6年度~	鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図ることを目的とする。	—	1 実施方針 鹿児島県の若手経営者、および後継者と弊行とが、共同して企業経営のあり方、地域経済、その他の諸問題について研究し、お互いの経営能力を高め、会員相互の交流を図っていく。 2 スケジュール (1)H27年7月 セミナー 会員企業3社によるプレゼンテーション (2)H27年10月 講演会「歩いてきた道、歩いてゆく道」 (3)H27年12月 他金融機関・取引先との交流会 (4)H28年1月 セミナー「地域活性化と地場中小企業の振興について」 (5)H28年3月 セミナー「事業承継について」	—	継続実施	継続予定	—	○	南日本銀行	
206		4	1	1	1				ビジネスセミナー	7年度~	中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、時事に応じたビジネスセミナーを実施する。	—	1 実施方針 中小企業・個人事業主の経営基盤強化の一助として、時事に応じたビジネスセミナーを実施する。 2 スケジュール (1)H27年4月 セミナー「第19回 接客・マナー研修」実施 (2)H27年4月 セミナー「第2回 WAZZECAセミナー」実施 (3)H27年5月 セミナー「第3回 WAZZECAセミナー」実施 (4)H27年6月 セミナー「第4回 WAZZECAセミナー」実施 (5)H27年8月 セミナー「第5回 WAZZECAセミナー」実施	—	継続実施	継続予定	—	○	南日本銀行	
207		4	1	1	1				かしん経営大学	8年度~	経済に関する様々な知識の習得と異業種交流で事業計画作成に取り組む。	—	例年と形を変え、公開講座として県内各地域にて8回開催。	—	第20期かしん経営大学 継続実施 50名入学	継続予定	—	○	鹿児島信用金庫	
208		4	1	1	1			○	中核的企業創出プログラム事業	20~29年度	自動車、電子、食品、成長産業(環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業)関連の有望な技術シーズ等を有するか、若しくはその市場に新たに参入する意思を持つ中小企業者に対して、本県において中核的企業(地域を牽引する中核的な企業として成長が期待される中小企業)としての創出に必要な各種事業の実施に要する経費の一部を助成する。	18,988	助成件数 新規:0社 継続:5社	13,631	助成計画件数 新規:1社 継続:3社	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	
209		4	1	1	1				かしんトップマネジメント大学	22年度~	○本講座を受講し、受講内容を経営に取り込み、企業の業績を向上させるとともに鹿児島県経済の浮揚を図ることを目的とする。 ○税理士や中小企業診断士による講義。	—	27年5月14日 27年11月18日 28年2月12日 実施	—	継続実施 平成28年5月12日 実施。	継続予定	—	○	鹿児島信用金庫	
210		4	1	1	1			○	かごしま若手経営者育成事業(かごしま産業おこし郷中塾)	24年度~	グローバル化の進展や人口減少、超高齢化社会の到来など、変革の時代に対応した戦略的産業興しを実践する人材の育成 【対象者】 40歳代までの、県内に本社又は事業所を有する中小企業の経営者、後継者、企画・戦略担当者	28,297	カリキュラム(6月~2月 計6回) ①全体講義 経営哲学や先端事例等の講演 ②交流会 小グループでの議論、意見交換 ③実践講座(希望者のみ) 新規開発や販路拡大等の指導 ○参加者 82名(67社)	22,711	カリキュラム(6月~2月 計6回) ①全体講義 経営哲学や先端事例等の講演 ②交流会 小グループでの議論、意見交換 ③実践講座(希望者のみ) 新規開発や販路拡大等の指導 ○参加者 95名(72社)	継続予定	—	◎	県(商工政策課)	
211		4	1	1	1			○	かしん創業プランセミナー(H25まで「かしんビジネスプランセミナー」)	24~26年度	事業計画書作成を1日で学ぶセミナー	—	—	—	—	—	○	鹿児島信用金庫		
212		4	1	1	1			○	そうしんビジネス・イノベーション大賞	24年度~	地域経済の発展・振興等に優れた成果をあげた企業・団体を表彰し、地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的とする。	—	平成27年10月実施	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	
213		4	1	1	1				ビジネスドクターナビ事業	25年度~	当所HP内に弁護士・税理士等の「士業」の専門家を資格ごとに案内する専用のページを開設し、事業者の課題解決のための士業者探しを支援する。	0	・登録専門家 64件	0	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
214	□	4	1	1	1	○	○		よろず支援拠点事業	26年度~	中小企業・小規模事業者の売上拡大や経営改善等に対する一層の相談機能の強化を図るため、チーフコーディネーター等を配置し、総合的・先進的アドバイスやチーム編成を通じた支援、的確な支援機関等の紹介を行い、中小企業等の課題解決を図る「よろず支援拠点」を開設する。	49,211	(1) 支援体制 ・コーディネーター1名 ・サブコーディネーター4名 (2) 相談実績 2,367事業者 経営課題 4,864件 (3) セミナーの開催 15回 参加者:643名 (4) 各地区相談会等 14地区 相談者:209名	90,947	(1) 支援体制 ・チーフコーディネーター1名 ・サブチーフコーディネーター1名 ・コーディネーター7名 (2) 支援内容 ①経営革新支援 ②経営改善支援 ③ワンストップサービス	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(経営支援課)	
215		4	1	1	1	○	○		プロフェッショナル人材戦略拠点事業	27年度~	県内中小企業の新製品開発、新規販路開拓をはじめとした各分野への新たなチャレンジを積極的に促し、その実現を支えるプロフェッショナル人材のマッチングをサポートする。	6,187	鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点を設置(H28.1.29)。 ・マネージャー等の設置 マネージャー 1名 サブマネージャー 1名 人材活用支援専門員 1名 ・相談件数 23件 ・プロフェッショナル人材戦略協議会 1回 ・企業成長セミナー 1回	52,931	・マネージャー等3名配置 ・プロフェッショナル人材戦略拠点の運営 ・セミナーの開催 ・専門家派遣	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	国、県、中小企業支援機関
216		4	1	1	1				web経営相談事業	26年度~	経営相談窓口に来ることができない事業者が場所と時間を制約されずに必要な時にすぐ相談できるようなインターネットを利用して回答するシステムを構築する。	0	相談実績2件	0	継続実施	継続予定	—	△	商工会議所	
217		4	1	1	1				補助金情報ナビ事業	26年度~	国や県等によって創設されている様々な補助金情報をHPで提供するとともに、申請手続きの支援も併せて行う。	0	事業概要のとおり	0	事業概要のとおり	継続予定	—	○	商工会議所	
218		4	1	1	1				かしん経営者フォーラム	25年度~	経済・経営・財務・マーケティング・人事・労務等の経営学を中心とした勉強会を通じて企業と人の繁栄を目指す。	—	年間4回実施。 11/11,12/9,1/13,2/10	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島信用金庫	
219	□	4	1	1	2		○		中小企業資金融資事業	S35年度~	本市中小企業者(事業協同組合等を含む)の資金調達を円滑にし、経営基盤の安定・強化を図る。 1. 制度を利用する中小企業者に対する信用保証料補助 2. 信用保証協会・商工中金に対する損失補償 3. 商工振興資金利子補給(旧松元町) 4. 災害対策資金の利用者に対する利子補給 5. 金融ガイドブックの作成	336,858	1. 実施方針 本市中小企業融資制度の円滑な運用を図るとともに、経済状況に即応した事業資金調達が図られるよう適切に対応する。 2. 平成27年度実績 ①信用保証料補助(資金別件数) ・産業振興資金 1,268件 ・小規模企業支援資金 298件 ・特別小口資金 9件 ・短期事業資金 73件 ・経営安定化資金 29件 ・環境配慮促進資金 1件 ・災害対策資金 1件 ・創業支援資金 43件 ・新事業展開支援資金 9件 ②損失補償の実施 126件 ③商工振興資金に係る利子補給金 2件 ④災害対策資金に係る利子補給金 1件	350,699	1. 実施方針 本市中小企業融資制度の円滑な運用を図るとともに、経済状況に即応した事業資金調達が図られるよう適切に対応する。 (28年度変更点) ・短期事業資金を産業振興資金へ統合 ・産業振興資金を設備資金で利用する場合、保証料補助を1/2→2/3へ拡大 ・創業支援資金の要件緩和、保証料補助の拡大(年齢要件の廃止、自己資金要件を一律20%、市主催のセミナー等を受けた場合、保証料補助を2/3→3/4へ拡大) ・新事業展開支援資金の保証料補助の拡大(市主催のセミナー等を受けた場合、保証料補助を2/3→3/4へ拡大、新産業創出研究会部会参加者の保証料補助を2/3→3/4へ拡大)	拡充	・後継者育成資金の創設 ・創業支援資金の要件緩和	○	産業支援課	
220		4	1	1	2		○		新規開業支援利子補給金交付事業	19年度~	創業支援資金を利用する創業者に対して、借入後当初12月以内に支払った利子相当額を補助する。ただし、1件あたりの補助上限額は30万円とする。	3,924	1. 実施方針 創業者に対し利子補給を行い、利払い負担の軽減を図ることをもって、創業期の経営安定と事業の健全な発展を支援する。 2. 平成27年度実績(※H27.3月末までに融資実行された方が対象) 49件	4,591	1. 実施方針 創業者に対し利子補給を行い、利払い負担の軽減を図ることをもって、創業期の経営安定と事業の健全な発展を支援する。 ※H28.3月末までに融資実行された方が対象	拡充	・H31年度まで延長 ・交付対象期間の拡大(12月→18月)	○	産業支援課	
221		4	1	1	2				地域総合整備資金貸付事業	—	地域振興に資する民間事業活動等が積極的に展開されるように、地方公共団体が、(財)地域総合整備財団(通称:ふるさと財団)の支援を得て、民間事業者等に無利子資金の貸し付けを行う。	—	・実績なし(活用団体なし)	—	継続実施	継続予定	—	—	産業支援課	
222		4	1	1	2				ワンストップ専門相談事業	—	様々な専門的相談に対応するため、毎月第2水曜日の午後、弁護士・税理士・中小企業診断士等の専門家による個別・無料の相談会を実施。	175	・ワンストップ相談件数 24件	190	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
223		4	1	1	2				金融指導事業	—	小規模事業者・中小企業者の資金繰りを支援するため、マル経資金の推薦や、日本政策金融公庫・県・市の制度融資の斡旋を行う。	1,800	・マル経推薦 32件	1,800	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
224		4	1	1	2				金融指導事業	—	小規模事業者・中小企業者の資金繰りを支援するため、日本政策金融公庫・県市の制度融資の斡旋を行う	883	平成27年度実績 ・あっせん件数 106件 ・斡旋金額 1,121,990千円 ・貸付件数 96件 ・貸付金額 942,090千円	960	継続実施	継続予定	—	○	かごしま市商工会	
225		4	1	1	2				経営安定特別相談事業	—	倒産等の危機に直面している中小企業者に対して、商工調停士等の専門スタッフが再建の方策を講じ、問題の円滑な解決に向けた支援を行う。	1,250	・受付件数 21件 ・終結件数 0件	1,250	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
226		4	1	1	2				経営安定特別相談事業	—	倒産等の危機に直面している中小企業者に対して、商工調停士等の専門スタッフが再建の方策を講じ、問題の円滑な解決に向けた支援を行う	—	実績件数なし	—	継続実施	継続予定	—	△	鹿児島県商工会連合会(かごしま市商工会)	
227		4	1	1	2				鹿児島県中小企業再生支援協議会	15年度~	(九州経済産業局委託) 中小企業の再生に向けた取り組みを支援するため、競争力強化法に基づき設置し、事業の将来性はあるが、財務上の問題を抱えている中小企業を対象に、再生計画策定支援及び計画策定後のフォローアップを行う。	56,051	・相談企業数 79企業 ・再生取組案件 15企業 ・完了案件 17企業	80,860	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
228		4	1	1	2				県中小企業融資制度運営事業	14年度~	本県中小企業者の経営の合理化及び経営の安定強化に必要な資金の融資を行うことにより、中小企業者の振興を図る。	68,199	汎用資金、経済活性化支援資金、経営安定対策資金の運営に係る保証機関に対する保証料補助	149,092	継続実施	継続予定	—	△	県(経営金融課)	
229		4	1	1	2				消費税転嫁対策相談窓口相談等事業	25年度~	2段階にわたる消費税率の引上げに備え、各地商工会議所において相談窓口を設置し、地域の中小・小規模事業者からの相談にワンストップで対応するため、個別相談派遣相談、講習会等を実施することで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。	3,691	・セミナー・講演会 9講座、475名受講 ・窓口相談 386件	6,100	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
230		4	1	1	2				鹿児島県経営改善支援センターの設置	25年度~	金融機関や税理士法人等の認定支援機関と連携して、自ら経営改善計画を策定することが困難な中小企業・小規模事業者の改善計画等の作成を支援する。	38,860	・延相談件数 116件	86,440	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
231		4	1	1	2				経営改善円滑化支援事業(経営改善アドバイザー)	25~26年度	中小企業金融円滑化法の終了に伴い、増加が見込まれる経営改善計画作成等について迅速に対応するため、経営改善アドバイザーを1名設置し、計画作成に係る窓口相談等を行う。	—	—	—	—	—	—	○	商工会議所	
232		4	1	1	2				消費税軽減税率対応窓口相談等事業 ※H27まで「消費税転嫁対策窓口相談等事業」 ※H25まで「中小企業等消費税転嫁円滑化総合対策事業」	25年度~	消費税率の二段階にわたる引上げや制度変更の円滑な実施のため、個別相談派遣相談、講習会等の実施やパンフレット等による周知を行うことで、地域の中小・小規模事業者が消費税率引上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるよう支援することを目的とする。	964	セミナー8回開催 個別相談窓口設置(常時) パンフレット等周知1回	12,210	セミナー6回開催 個別相談窓口設置(常時) 専門家派遣事業24回 パンフレット等周知1回	継続予定	—	◎	鹿児島県中小企業団体中央会	
233		4	1	1	2				かしん経営相談室	24年度~	事業承継・第二創業等、企業のライフサイクルに応じた経営相談を行う。	—	随時開催。	—	随時開催	継続予定	—	○	鹿児島信用金庫	
234		4	1	1	3				中小企業新製品等利用促進庁内展示会	22年度~	本市中小企業の新製品・新技術の受注機会の支援を図るため、県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催するほか、必要に応じて、市関係課への製品説明会を実施し、本市による発注を促進する。 ・出展企業 ①トライアル発注制度で認定を受けた製品等を開発した本市中小企業 ②「メイドインかごしま」支援事業(新商品販路開拓支援)で支援対象の中小企業	—	1 実施方針 県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催し、本市による発注を促進する。 2 スケジュール 展示会開催(9月8日~11日) 3 出展企業 ①27年度県トライアル事業認定分:2社 ②メイドインかごしま支援事業対象分:4社	—	1 実施方針 県のトライアル発注制度で認定された本市中小企業者の製品等について、市庁舎内で展示会を開催し、本市による発注を促進する。 2 スケジュール 展示会開催(9月12日~16日) 3 出展企業 ①28年度県トライアル事業認定分:3社 ②メイドインかごしま支援事業対象分:6社	継続予定	—	○	産業創出課 産業支援課	県
235		4	1	1	3			○	トライアル発注・販路開拓支援事業	17年度~	県内の中小企業等が開発した製品等について、県の機関が試験的に発注するとともに、県外での展示会等への参加を促進することなどにより、販路の拡大・受注機会の拡大を図る。	5,214	1 トライアル発注事業の実施 ①応募件数:19件(15社) ②選定結果:12件(11社) 2 トライアル発注製品販路開拓支援事業費補助金 ①応募枠3社 ②交付1社(228千円)	6,011	1 トライアル発注事業の実施 県内の中小企業等が開発した新製品等を、県の機関が試験的に発注・使用 2 販路開拓支援事業の実施 トライアル発注選定企業が、当該製品等を県外での展示会等に出品する際の所要経費の一部を助成(補助率1/2、上限30万円)	継続予定	—	○	県(産業立地課)	
236		4	1	2	1				中小企業指導団体助成事業	S28年度~	中小企業者及び事業協同組合等の総合的な向上改善と育成に努めている指導団体の事業の円滑な運営を促進する。	20,100	・鹿児島商工会議所 6,400,000 ・かごしま市商工会 10,500,000 ・県中小企業団体中央会 1,300,000 ・県商店街振興組合連合会 200,000 ・(一社)鹿児島市商店街連盟 1,500,000 ・(公社)鹿児島県工業倶楽部 200,000	20,100	継続実施	継続予定	—	◎	産業政策課	
237		4	1	2	1				中小企業連携組織等支援事業(組合等運営活性化支援事業(組合青年部・後継者))	—	組合青年部会員、中小企業者若手経営者及び後継者を対象に、組合設立の理念と重要性を次世代に引き継ぎ、また、若い経営者層の眼から見た新たな共同事業の可能性を模索するとともに、その過程において組合員間の連携を深めることにより、組合活動の活性化を模索する。また、組合の結束力強化のため、青年部組織の活性化を図る。	560	・青年部研究会 (1)対象:鹿児島県印刷(工)青年部黎明まつま 開催日:平成27年10月24日 テーマ:空想科学的印刷の未来 講師:(有)空想科学研究所 代表取締役 柳田理科雄 (2)対象:鹿児島県建設業青年部 開催日:平成27年11月10日 テーマ:建設業界の明日を読む 講師:経済ジャーナリスト 須田慎一郎 ・青年部講習会 対象:全体 開催日:平成27年10月21日 テーマ:青年部会が果たすべき役割と期待 講師:全国中小企業青年中央会 直前会長 上山泰寛	225	・青年部研究会 (1)対象:鹿児島県環境整備事業(協)青年部 開催日:平成28年7月9日 テーマ:適正な労務管理と労働関連法令について 講師:北野社会保険労務士事務所 北野公朗 (2)対象:開催日等未定 ・青年部講習会 未定	継続予定	—	◎	鹿児島県中小企業団体中央会(組織振興課・連携支援課)	県

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
238		4	1	2	1				事業承継相談ネットワーク	20年度~	中小企業の事業承継が円滑になされることは、地域の雇用の機会及び経済活力の維持にとって重要な課題である。その課題解決のために、地域における事業承継支援機関及び支援者(金融機関、税理士等)が連携し、地域に根ざした支援ネットワークを形成することが求められている。 当金庫とTKC九州会鹿児島支部と提携し、金融機関と税理士の連携による事業承継への課題解決に向けた取組を行うことを目的として設立し、本部及び営業店にて随時実施している。	—	営業店より本部へ照会を行い随時行っている	—	継続実施	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	TKC
239		4	1	2	1				事業承継セミナー	22年度~	年1回の頻度で実施。小企業経営者の高齢化が進展し、円滑な事業承継の重要性が高まると同時に、税務や自社株など様々な側面からの対策を検討する必要性があるため、県内中小企業経営者の今後の事業承継対策に役立てることを目的として、「事業承継」のポイントをわかりやすく解説する「事業承継セミナー」を開催している。	—	平成27年4月23日(木)薩摩川内市にて開催	—	平成28年9月23日(金)ソーホーかごしまにて実施予定	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	中小企業基盤整備機構
240	□	4	1	3	1			○	「知的財産推進戦略」推進事業	19年度~	「鹿児島県知的財産推進戦略」に基づき、知的財産権制度の普及啓発及び相談窓口の設置などにより、本県の産業競争力の強化及び地域経済の活性化を図る。	3,332	1 知的財産活用推進員の設置 2 知的財産権制度に関する相談窓口の設置 3 知的財産に関するセミナー等の実施	4,530	1 知的財産活用推進員の設置 2 知的財産権制度に関する相談窓口の設置 3 知的財産に関するセミナー等の実施 4 「鹿児島県知的財産推進戦略」の改訂	継続予定	—	◎	県(産業立地課)	事業者、大学、関係支援機関等
241		4	1	3	2			○	中小企業等外国出願支援事業 ※26年度まで「地域中小企業外国出願支援事業」	24年度~	経済のグローバル化による国際的な事業展開や知的財産権侵害品へ対応するため、中小企業の戦略的な外国への特許出願等に対してその費用の一部を助成する。	6,347	助成件数 ・特許 6件 ・商標 11件	10,246	助成計画件数 ・特許 6件 ・意匠 1件 ・商標 12件 ・実用新案 1件 ・冒認対策商標 1件	継続予定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(産業振興課)	県、大学、公設試等
242		4	1	4	1				中小企業情報化促進事業 ※事業廃止後は、情報提供コーナーの運営と、セミナー及び交流促進については、ソフトプラザかごしま管理運営事業、新規創業者等育成支援事業でそれぞれ実施	13~24年度	ソフトプラザかごしまの情報提供コーナーの運営、情報化セミナーの開催等により、市内中小企業の情報化促進を図る。 また、入居企業をはじめ、市内の情報関連企業に対して、ソフト面から支援を行うことにより、情報関連産業の育成を図る。	—	—	—	—	—	—	○	産業創出課	
243		4	1	4	1			○	ICT高度活用促進事業 (H24は情報化基盤整備基金事業)	2~27年度	コンピュータ等の情報機器を活用する中小企業の情報化を支援することにより、経営の安定に寄与する。	4,694	① [IT活用による営業戦略]等のセミナー開催 ・鹿児島、及び鹿児島市の2地区で実施 ・参加者:140名 ② 情報化に関する相談にアドバイザーを派遣 ・1社 ③ EC等活用アドバイザー相談実績 ・電話相談 27件 ・窓口相談27件 ・現地訪問 65件 合計 119件	—	—	—	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(総務情報課)	
244		4	2	1	1				鹿児島市商工業振興関係機関連絡会議	23年度~	本市内には、中小企業等の経営や事業展開を支援する機関が集積し、それぞれが各種支援を行っていることから、各機関が有する支援メニューや情報を共有し、相互に連携することにより、事業者へのさらなる効率的・効果的な支援につなげる場として開催するもの。	0	○日時:平成27年7月1日(水) ○参加者:市8名、関係機関10名 ○内容 ・主な施策の確認、周知など	0	○日時:平成28年8月10日(水) ○参加者:市10名、関係機関7名 ○内容 ・主な施策の確認、周知など	継続予定	—	○	産業政策課	
245		4	2	2	1				鹿児島市商工業振興プラン推進会議	23年度~	学識経験者・経済団体・行政等で構成する推進会議に対し、施策の進捗状況や成果指標の達成状況等を報告し、施策の見直しや新たな施策展開等について意見をいただき、本プランの推進を図るもの。	53	○日時:平成27年10月28日(水) ○参加者:市13名、関係機関10名 ○内容 ・プランの進捗状況の確認 ・地方創生総合戦略への意見聴取 など	124	○日時:平成28年10月18日(火) ○参加者:市5名、関係機関12名 ○内容 ・プランの進捗状況の確認など	継続予定	—	○	産業政策課	
246		4	2	2	1				メール配信サービス事業	—	当所セミナー等の各種事業や、関係団体事業、各種経営情報をタイムリーに案内するため、メールマガジンを発信。発行は毎月5日と20日。	0	登録企業数2,700社	0	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
247		4	2	2	1				情報誌作成事業	12年度~	研究開発型企業等や中小企業支援機関向けに産業技術及び産学官の連携に関する情報の提供を行う。	686	情報誌「KISC」を発行 年4回(季刊発行) 2,700部/回	1,292	情報誌「KISC」の発行 年4回(季刊発行) 1,200部/回	未定	—	○	(公財)かごしま産業支援センター(総務情報課)	
248		4	2	2	1				中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(ミラサポ) ※H25は「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」	25年度~	中小企業・小規模事業者(創業予定者含む)が専門家と経営・起業に関する情報交換や相談に対応できるように、ITクラウドを活用した経営支援システムを開発・運営をするとともに、高度な経営課題等の相談に対応するため、専門課派遣を行う。	—	専門家派遣実績数 商工会議所: 25社、35件 商工会 : 3事業所	—	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所・かごしま市商工会	
249		4	2	2	2			○	輸出チャレンジ支援セミナー(ジェトロとの共催)	25年度~	輸出に興味のある中小企業者や、輸出チャレンジ支援事業の補助を受けた中小企業者を対象に、輸出に関するセミナーを実施し、新たに輸出にチャレンジする事業者の掘り起こしを行うとともに、輸出に関するスキルアップを図り、海外への販路開拓を促進する。	0	ジェトロ鹿児島との共催によるセミナーを開催 ○日時 平成27年1月25日~26日 ○参加者 28名 ○内容 ・1日目:マーケティングの基礎について ・2日目:実務的マーケティングについて	0	ジェトロ鹿児島との共催によるセミナーを開催 ○日時 平成28年9月27日(火) ○内容 ・農林水産物・食品輸出商談スキルセミナー	継続予定	—	○	産業政策課	ジェトロ

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)				
250		4	3	1	1			○	ニュービジネスプランコンテスト事業	22~26年度	新規創業者等の斬新なアイデアの事業化に対する支援を行うことにより、新事業の創出を促進し、本市の経済活性化を図る。	—	—	—	—	—	—	○	産業創出課	
251		4	3	1	1			○	ビジネスインキュベーション施設ホームページリニューアル事業	25年度	ビジネスインキュベーション施設であるソーホーかごしまとソフトプラザかごしまのホームページを統合、リニューアルすることで、本市の創業支援に係る取組みを一体的に紹介するとともに、リアルタイムに情報を発信する体制を構築する。	—	—	—	—	—	—	○	産業創出課	
252		4	3	1	1			○	創業応援ナビゲーター事業	25年度~	創業者向けのメール配信、ブログ等を通じて、施策や会議所の情報を伝え創業相談者の創出を図る。	0	・登録者数 161名	0	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所	
253	□	4	3	1	2			○	新規創業者等育成支援事業	20年度~	新規創業者等の育成支援のため、次の事業を行う。 (1)ソフトプラザかごしま、ソーホーかごしま入居者等に対する経営・販路面のアドバイスなど、成長のための支援 (2)新規創業者に対する創業準備のための支援 (3)SOHO支援イベント、セミナー等の開催 (4)創業支援関係機関と連携した取り組み	9,460	鹿児島相互信用金庫への業務委託により実施 ①新規創業者支援 ・IM(2名)が経営面、販路面のアドバイスなど成長のための支援を行う。 ②創業・ビジネスセミナーの開催 ・創業スキル養成講座・基礎編(6回シリーズ) ・創業スキル養成講座・実践編(5回シリーズ) ・情報関連セミナー ・ビジネススキルアップセミナー ・入居者等勉強会 ③販路開拓・マッチング支援	7,338	鹿児島相互信用金庫への業務委託により実施 ①新規創業者支援 ・IM(2名)が経営面、販路面のアドバイスなど成長のための支援を行う。 ②創業・ビジネスセミナーの開催 ・創業スキル養成講座・基礎編(6回シリーズ) ・創業スキル養成講座・実践編(5回シリーズ) ・さつまおごじよ起業応援セミナー(新規) ・事業承継・第二創業サポートセミナー(新規) ・入居者等勉強会 ③販路開拓・マッチング支援	継続予定	—	○	産業創出課	関係機関、民間企業等
254		4	3	1	2			○	女性起業家育成事業	25~26年度	地域に潜在している起業意欲を持った女性を対象に事業開始を目的として経営者としての基礎や商品開発等の学びの場のほかビジネスを通じた交流の場を提供する人材育成塾を開催する。	—	—	—	—	—	—	○	産業創出課	
255		4	3	1	2				中小企業連携組織等支援事業(組合等連携強化指導事業(創業・起業・新分野))	—	組合を対象とし、5つのテーマに基づき、セミナーを開催する。テーマは以下の通り。 ・事業再構築支援 ・新規事業展開 ・経営革新 ・労働問題 ・地域資源振興	1,149	・新規事業 対象:組合、組合員企業、ものづくり・創業補助金採択者 開催日:平成27年9月18日 テーマ:そもそもデザインとは何か? 講師:KATAL SEVEN 代表 丈井彰一郎 対象:組合、組合員企業、ものづくり・創業補助金採択者 開催日:平成27年9月29日 テーマ:デザインのチカラの活用方法 講師:KATAL SEVEN 代表 丈井彰一郎 ・環境リサイクル 対象:鹿児島県オーストリッチ事業(協) 開催日:平成28年3月4日 テーマ:オーストリッチ皮の有効活用と皮革製品の販路拡大策について 講師:全日本爬虫類皮革産業(協) 副理事長 坂本英樹 ・地域資源振興 対象:入来温泉研究会 開催日:平成27年6月23日 テーマ:鹿児島県の地域資源であるミネラルウォーターの活用策と販路拡大について 講師:兵庫県立大学大学院 客員教授 勝瀬典雄 対象:鹿児島県菓子(工) 開催日:平成27年10月8日 テーマ:鹿児島県産産産物を使用したギフト用和菓子づくり 講師:日本菓子専門学校 和菓子科 課長 森山智宏 ・事業再構築 対象:鹿児島県化粧品小売(協) 開催日:平成27年12月21日 テーマ:美と健康の提供による組合事業の再構築について 講師:トータルメイクアップコンサルタント アトリエ・マキヤージュ 主宰 山下喜代 ・経営強化・運営改善 対象:組合、組合員企業 開催日:平成27年12月7日 テーマ:夢持ち続け日々精進 講師:(株)A and Live 代表取締役 高田 明 対象:(協)情報タウンこくふ 開催日:平成27年12月18日 テーマ:まちゼミ入門編 講師:岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎	1,010	組合等を対象とし、5つのテーマに基づき、セミナー等を開催する。テーマは以下の通り。 ・新規事業 ・環境リサイクル ・地域資源振興 ・事業再構築 ・経営強化・運営改善	継続予定	—	◎	鹿児島県中小企業団体中央会(組織振興課・連携支援課)	県
256		4	3	1	2			○	創業促進事業 ※H25は「地域需要創造型等起業・創業促進事業」	24~27年度	新たに起業・創業や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を助成する事業で新たな需要や雇用の創出を図り、我が国経済を活性化させることを目的とする。	7,962	1 実施方針 平成24年度補正事業者に対する事業完了後のフォロー及び平成25年度補正採択先に対する事業管理、事業後のフォローを実施することにより、新たな需要や雇用の創出を喚起して経済の活性化を図った。 2 スケジュール (1)平成25年度補正採択者に対する中間検査、完了検査の実施と補助金支払手続 (2)採択先に対する事業管理及びフォロー	754	1 今後の実施方針 平成24年度及び平成25年度補正事業者に対する事業完了後のフォローを実施することにより、新たな需要や雇用の創出を喚起して経済の活性化を図る。 2 スケジュール (1)補助事業者に対する事業化状況確認・支援、また連携による新たな組織化等の支援を実施する。	継続予定	—	◎	県中小企業団体中央会	中小企業庁、認定支援機関

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
257		4	3	1	2				新規創業等育成支援事業の受託	25年度~	鹿児島市から、市の新規創業等育成支援事業について業務委託を受け、主にセミナーや新規創業のための講義等を実施する	—	①インキュベーションマネージャーの配置 ②創業スキル養成講座(基礎編)(全6回開催) ③創業スキル養成講座(実践編)(全5回開催) ④情報関連セミナー、入居者勉強会の開催 ⑤ソーシャルビジネス事業者支援(助言、マッチング支援、アドバイザー派遣、データベース管理) ⑥鹿児島市新規創業事業の広報・アンケート実施及び市インキュベーションセンターの入居者募集等	—	以下の内容にて実施予定 ①インキュベーションマネージャーの配置 ②創業スキル養成講座(基礎編)(全6回開催) ③創業スキル養成講座(実践編)(全5回開催) ④情報関連セミナー、入居者勉強会の開催 ⑤ソーシャルビジネス事業者支援(助言、マッチング支援、アドバイザー派遣、データベース管理) ⑥鹿児島市新規創業事業の広報・アンケート実施及び市インキュベーションセンターの入居者募集等	継続予定	—	◎	鹿児島相互信用金庫	市
258		4	3	1	2				地域活性化起業家支援事業	27年度~	過疎地域等定住人口の少ない地域において新たなビジネスや雇用を創出し、地域の活性化を促進するため、当該地域において起業を志す者等に対し、起業初期段階の負担軽減を図ることにより、起業しやすい環境を整備する。	83,496	1 対象地域 過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づく過疎指定地域、半島振興法の規定に基づく半島振興対策実施地域、離島振興法等の適用される地域などの地域 2 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)起業家支援事業 対象地域において1年以内に起業する者に対し、起業に必要な初期投資を助成(補助率等)3分の2以内 上限50万円 (2)スタートアップ支援事業 対象地域において起業後2年未満の事業者に対して、創業初期に必要な経費を助成(補助率等)3分の2以内 上限200万円	81,168	1 対象地域 過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づく過疎指定地域、半島振興法の規定に基づく半島振興対策実施地域、離島振興法等の適用される地域などの地域 2 助成対象事業(助成率、助成限度額) (1)起業家支援事業 対象地域において1年以内に起業する者に対し、起業に必要な初期投資を助成(補助率等)3分の2以内 上限50万円 (2)スタートアップ支援事業 対象地域において起業後2年未満の事業者に対して、創業初期に必要な経費を助成(補助率等)3分の2以内 上限200万円	継続予定	—	◎	県(産業立地課)	委託先:(公財)かごしま産業支援センター
259		4	3	1	3				ソーホーかごしま管理運営事業	16年度~	SOHO事業者を育成、支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行うことにより、ベンチャービジネスの展開や新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。	19,845	1 実施方針 SOHO事業者を育成・支援するための拠点施設「ソーホーかごしま」の管理・運営を行うことにより、ベンチャービジネスの展開や新規創業を促進し、本市経済の活性化を図る。 2 入居用施設入居状況(H28年3月末現在) 全21室中19室入居 (企業:5、個人・グループ:14、NPO法人等:0)	19,173	継続実施	—	○	産業創出課		
260		4	3	1	3				創業支援のための無線LAN設置事業	26年度(補正)~ 27年度(繰越)	ソーホーかごしま、ソフトプラザかごしまにおいて、商談や会議の際にタブレット等を使用できるようにすることで、入居者や参加者の利便性の向上を図る。	986	・ソーホーかごしま 会議室、交流サロン、商談コーナーで無線LANを利用できるように3か所にアクセスポイントを設置 ・ソフトプラザかごしま 会議室(1階)、展示会議室(2階)で無線LANを利用できるように2か所にアクセスポイントを設置	—	—	—	—	◎	産業創出課	
261		4	3	2	1				デザイン関連人材育成・交流支援事業	25~26年度	デザイン関連人材のスキルアップ教育やデザイン関連イベント、企業とのマッチング等を支援することで、高度なデザインスキルを有する人材の輩出やその活用、デザイナーの情報発信等を図る。	—	—	—	—	—	—	○	産業創出課	
262		4	3	2	2				中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム参加	25~26年度	平成25年度文部科学省委託事業「中核的専門人材育成のためのグローバル・コンソーシアム」(代表校:九州大学)に参加している。進展するグローバル化を視野に入れつつ、地方においてビジネスを進展させていく方策として、大学、短大、専門学校といった教育機関が、体系的なカリキュラム(社会人の学び)を担っていくプランを構築することを目的としている。	—	—	—	—	—	—	○	県立短大	
263		4	3	2	2				成長分野における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業	27年度	平成27年度文部科学省委託事業「成長分野における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」(代表校:九州大学)に参加している。進展するグローバル化を視野に入れつつ、地方においてビジネスを進展させていく方策として、大学、短大、専門学校といった教育機関が、体系的なカリキュラム(社会人の学び)を担っていくプランを構築することを目的としている。	—	—	—	—	—	—	○	県立短大	
264		4	3	2	2				商談スキルセミナー	25年度~	海外見本市や、国内商談会等の事前準備として、同セミナーを実施する。商談の成果をより高めるため商談のノウハウ等を提供する。	—	事業概要の通り	—	継続実施	—	—	○	ジェトロ	
265		4	3	2	3				「地域ナレッジ活性化センター」の設置検討	25年度	地域の知の拠点を構築するための学内組織を検討する。	—	264のとおり(計画変更)	—	—	—	—	○	鹿児島大学	鹿児島県、鹿児島市、薩摩川内市、与論町
266		4	3	2	3				「地(知)の拠点整備事業(COC)」の展開	26年度~	鹿児島大学と地域との連携の核となるセンターを設置する。	50,430 (見込み)	「地(知)の拠点整備事業(COC)」を展開	43,900	「地(知)の拠点整備事業(COC)」を展開	継続予定	—	○	鹿児島大学	鹿児島県、鹿児島市、薩摩川内市、与論町
267		4	3	2	3				「起業のための人材育成」の開講	26年度~	起業マインドを持つ人材の育成を目的とした共通教育の授業(対象は全学部学部学生)。講師には本学教員のほか、鹿児島銀行と野村證券との「産学連携授業に関する連携協定書締結」により、授業実施において協力を得ている。	—	「起業のための人材育成Ⅰ・Ⅱ」を開講した。	—	「起業のための人材育成Ⅰ」「起業のための人材育成Ⅱ」を前期・後期で実施する。	継続予定	—	○	鹿児島大学	鹿児島銀行 野村證券

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
268	4	3	2	3					「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」開始	27年度~	地(知)の拠点大学が、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、地域が求める人材を養成するための教育カリキュラムの改革を行うことにより、地方創生の中核となる「ひと」の地方への定着を促進することを目的とした文部科学省の事業。	66,470 (見込み)	COC+大学である鹿児島大学をはじめ、COC+参加校(鹿児島国際大学、志学館大学、鹿児島県立短期大学、鹿児島女子短期大学等)や鹿児島県、企業団体等の事業協働機関と連携協働することにより、5年後の学卒者の県内就職率を平成28年度学卒者の就職率より7.5%増を目指す事業目標とするCOC+事業を開始した。 ※事業費はCOC+参加校(7校)分を含む	63,307	「地域就業キャリアデザイン」の開講のほか、平成29年度以降のカリキュラム構築に向けた調整等を行う。また事業協働機関との協議会等を通じて、連携協働を深めていく。 ※事業費はCOC+参加校(7校)分を含む	継続予定	—	○	鹿児島大学産学官連携推進センター	県内高等教育機関7校、鹿児島県、鹿児島銀行、14企業団体等
269	4	3	3	1					ものづくり職人人材マッチング事業	23年度~	ものづくりを支える職人に興味のある若年者への職場体験等の場の提供やホームページを活用した職人等の魅力の情報発信により、担い手の掘り起こしを行い、ものづくり分野での就職・起業につなげる。	4,989	・イベント参加者 37名 ・マッチングマッチング(就職) 13件、若年者の求職登録 360件	3,827	・イベントの実施 ・マッチング	継続予定	—	○	雇用推進課	
270	4	3	3	1					若年者のための就職面談会	—	若年者の県内就職を促進するため、就職面談会等を開催する。	—	(27年度実績) ・6月30日、9月28日、10月14日、2月23日、3月22日(鹿児島市)	—	継続実施	継続予定	—	○	県(雇用労政課)、鹿児島労働局、鹿児島県若者就職サポートセンター	
271	4	3	3	2					労働関係相談及び雇用促進事業	S49年度~	(1)雇用相談室の設置 市役所東別館1階市民相談センター内に雇用相談室を設置し、雇用、労働に関する各種相談等への対応や、ハローワークの求人情報をもとにした無料職業紹介を行う。 (2)雇用労働会議 雇用労働問題について、経済団体、労働団体、行政機関が一堂に会し、各団体の取組状況などについて、意見交換を行い、相互の理解と連携を深める。 (3)雇用対策連携協定 鹿児島労働局と協定を締結し、鹿児島市域の雇用・労働環境の充実に向けた取組を推進する。	2,471	(1)雇用相談室の設置 ・雇用・労働に関する各種相談 ・無料職業紹介 ・シルバー人材センターコーディネーターによる事業紹介等 【27年度実績】 相談件数 441件 無料職業紹介 紹介状作成49件 就職件数11件 (2)雇用労働会議 雇用労働会議の開催 平成27年12月24日「Uターン人材の確保について」(出席団体:国1、県1、市1、経済団体4) (3)雇用対策連携協定 鹿児島労働局と雇用対策連携協定を締結(平成28年3月29日)	2,607	(1)雇用相談室の設置 ・雇用・労働に関する各種相談 ・無料職業紹介 ・シルバー人材センターコーディネーターによる事業紹介等 ※28年10月から、雇用相談室の場所に、新たに生活自立支援センター、ハローワーク常設窓口及びシルバー人材センター窓口を加えた生活就業支援センターかごしまを設置し、生活と仕事に関する相談体制を充実する。 (2)雇用労働会議 雇用労働会議の開催 (3)雇用対策連携協定 協定に基づく事業計画を策定し、雇用・労働環境の充実に向けた取組を推進。	継続予定	—	○	雇用推進課	
272	4	3	3	2					就職困難者等雇用促進助成事業	S63年度~	高齢者等就職困難者の雇用機会の増大及び雇用の定着を図るため、市内に事業所を有する中小企業の事業主が、市内に住所を有する就職困難者等を継続して雇用する労働者として雇い入れた場合に、事業主に対し奨励金を支給する。	7,820	就職困難者等雇用奨励金を支給した。 ＜対象者＞ 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他就職が特に困難な者 ＜奨励金の額＞ 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他:月額3,000円を6ヶ月間 【平成27年度実績】 229事業所 304人	7,755	就職困難者等雇用奨励金を支給する。 ＜対象者＞ 対象労働者:市内に住所を有する身体障害者等、高齢者、精神障害者、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他就職が特に困難な者 ＜奨励金の額＞ 重度障害者、精神障害者等:月額6,000円を12ヶ月間 重度以外の障害者:月額3,000円を12ヶ月間 高齢者(60歳以上)、母子家庭の母等、父子家庭の父及びその他:月額3,000円を6ヶ月間	継続予定	—	○	雇用推進課	
273	□	4	3	3	2				高齢者就業機会確保等事業	S56年度~	臨時的・短期的な就業を通じて、定年退職者等に就業機会を提供するシルバー人材センターを育成することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりを図り、活力ある地域社会づくりを推進するとともに、高齢者のもつ知識・経験や技能・技術を就業分野において積極的に活用促進する。	65,583	(1)(公社)鹿児島市シルバー人材センターへの助成 高齢者の就業機会の拡大と福祉の向上に取り組むシルバー人材センターに対し各種事業や運営に要する経費を助成し、27年度は国の新たな補助メニューに協調して助成を拡充した。 (2)就労促進ガイドブックの発行 高齢者雇用に関するセミナー等の情報を掲載した紹介冊子を発行(10,000部) (3)コーディネーター、就業開拓員の配置等 シルバー人材センターに配置されているコーディネーターや就業開拓員等に係る経費の一部を助成。 (4)ITスキルアップ講座の開催 再就職を目指す高齢者を対象とした効果的なビジネスソフトの活用法等のパソコン講座を開催。	63,251	(1)(公社)鹿児島市シルバー人材センターへの助成 高齢者の就業機会の拡大と福祉の向上に取り組むシルバー人材センターに対し、補助を行う。 ※ワコンインサービスに対する助成を拡充 (2)就労促進ガイドブックの発行 高齢者雇用に関するセミナー等の情報を掲載した紹介冊子を発行(8,000部) (3)コーディネーター、就業開拓員の配置等 シルバー人材センターに配置されているコーディネーターや就業開拓員等に係る経費の一部を助成。 (4)ITスキルアップ講座の開催 再就職を目指す高齢者を対象とした効果的なビジネスソフトの活用法等のパソコン講座を開催。	継続予定	—	○	雇用推進課	
274	4	3	3	2					若年者就職サポート事業	16年度~	若年者の雇用状況の改善を図るため、求人数の減少や雇用面のミスマッチなどの課題に対応した取組を実施する	1,123	(1)求人開拓 市職員が直接経済団体(20団体)を訪問し雇用枠拡大を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 就職を希望する市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修等を開催 【平成27年度実績】 11校 771人参加 (4)鹿児島市新就職者激励大会の開催 市内の事業所に就職する新規学卒者を対象者に社会人としての基礎研修や講演等を開催 【平成27年度実績】 54事業所 180人	1,153	(1)求人開拓 市職員が直接経済団体(20団体)を訪問し雇用枠拡大を要請 (2)キャリア形成ガイドブックの発行 セミナー等の紹介冊子を発行(10,000部) (3)高校生ステップアップセミナーの開催 就職を希望する市内高校3年生を対象に面接試験の対応研修等を開催 【平成28年度実績】 10校 797人 (4)新就職者激励大会の開催 市内の事業所に就職する新規学卒者を対象者に社会人としての基礎研修や講演等を開催	継続予定	—	○	雇用推進課	

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等	
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)					
275		4	3	3	2				若年者等雇用促進助成事業	21年度~	雇用環境の厳しい若年者等の正規雇用の機会を拡大するため、国のトライアル雇用事業によりトライアル雇用した市内事業主に対し、支援金を支給する。	9,160	トライアル雇用支援金を支給した。 <対象労働者> 市内に住所を有し(住民登録があること)、国のトライアル雇用事業または障害者トライアル雇用事業により市内に事業所を有する事業主に雇用された者。ただし、申請日において引き続き対象労働者を雇用していること。> <支援金の額> 1人最大6万円。ただし、障害者トライアル雇用事業により雇用された者の場合、最大12万円。 ※母子・父子家庭の対象者については、別途加算あり 【27年度実績】 128事業所 133人	10,378	トライアル雇用支援金を支給する。 <対象労働者> 市内に住所を有し(住民登録があること)、国のトライアル雇用事業または障害者トライアル雇用事業により市内に事業所を有する事業主に雇用された者ただし、申請日において引き続き対象労働者を雇用していること。 <支援金の額> 1人最大6万円。ただし、障害者トライアル雇用事業により雇用された者の場合は、最大12万円。 ※母子・父子家庭の対象者については、別途加算あり	継続予定	—	○	雇用推進課		
276		4	3	3	2				IT人材育成事業	22~26年度	新卒未就職者をはじめとする若年者を対象に、座学研修や職場実習を通じて、情報・通信分野における人材の育成等を図る。	—	—	—	—	—	—	○	雇用推進課		
277		4	3	3	2				障害者技能向上支援事業	25年度~	障害者の雇用促進につなげるため、特別支援学校の生徒を対象に技能体験教室や職場見学を実施し技能向上の機会を提供するとともに、職業技能を競い合うアピリンピック出場を目指す従業員を雇用している事業主に対し技能習得に要する経費を助成する。	388	【27年度実績】 ・技能体験教室の開催 2回(9名参加) ・職場見学の開催 2回(10名参加) ・障害者技能向上奨励金の支給 支給件数:3業所 支給金額:113,526円 ・障害者技能労働者奨励金の支給 0人(アピリンピック国際大会への本市からの参加者なし)	542	・技能体験教室の開催 ・職場見学の開催 ・障害者技能向上奨励金の支給 ・障害者技能労働者奨励金の支給	継続予定	—	○	雇用推進課		
278		4	3	3	2				ものづくり職人育成支援事業	27年度~	ものづくり分野の技能継承、技術力向上等を図るとともに市内事業所の人材育成を支援するため、本市職業訓練センターで実施する職業訓練にかかる経費の一部を助成する。	323	ものづくり職人育成支援金を支給した。 (対象者) 市内に事業所を有する事業主であって、当該事業所で雇用する従業員に、鹿児島市職業訓練センターに(職)鹿児島市職業訓練協会が設置する鹿児島高等技術専門校で実施する職業訓練を受講させ、その職業訓練に係る経費を負担する者。 (対象経費) 事業主が支払った訓練校の入学金及び授業料 (補助率) 2分の1 【平成27年度実績】 8事業所 10人	788	ものづくり職人育成支援金を支給する。 (対象者) 市内に事業所を有する事業主であって、当該事業所で雇用する従業員に、鹿児島市職業訓練センターに(職)鹿児島市職業訓練協会が設置する鹿児島高等技術専門校で実施する職業訓練を受講させ、その職業訓練に係る経費を負担する者。 (対象経費) 事業主が支払った訓練校の入学金及び授業料 (補助率) 2分の1	継続予定	—	○	雇用推進課		
279		4	3	3	2				長期実践型インターンシップ事業	25~26年度	長期間にわたるインターンシップのコーディネートを行い、大学生等に対し、仕事や地元企業を知り就職のイメージをつかんでもらう機会を提供するとともに、中小企業の事業拡大の支援等を行う。	—	—	—	—	—	—	○	雇用推進課		
280		4	3	3	2				仕事・職業人情報発信事業	25~26年度	インターネット等による様々な仕事や職業人等の魅力の情報発信などにより、就職活動中の学生等の情報収集を支援するとともに、職業観の醸成を促し、離職率の抑制や雇用のミスマッチの解消を図る。	—	—	—	—	—	—	—	○	雇用推進課	
281		4	3	3	2				在職者キャリアアップ支援事業	26年度	企業の在職者を対象に、業務に資する専門的知識の習得や資格取得のための研修を実施し、企業の売上増加や業務効率向上等を支援することにより、在職者の処遇改善を図る。	—	—	—	—	—	—	—	○	雇用推進課	
282		4	3	3	2				鹿児島県地域ジョブ・カードセンター	20年度~	地元企業のニーズに合った人材を育成するため、厚生労働省の委託事業であるジョブ・カード事業を受託する。 ①新ジョブ・カード制度の周知広報 ②ジョブ・カード普及サポーター企業の開拓・登録 ③ジョブ・カードを活用した雇用型訓練の実施企業の開拓・支援 ④ジョブ・カードを活用した在職労働者の実務経験の評価を実施する企業の開拓・支援 ⑤在職労働者にジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティング等を実施する企業の開拓・支援	—	・訓練計画確認事業所:690コース ・訓練開始件数:521コース ・ジョブ・カード普及サポーター企業登録事業所:576コース	—	継続実施	未定	—	◎	商工会議所		

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等	
						1食の都	2外貨獲得	3新産業創出								拡充要素(予定)					
283		4	3	3	2				鹿児島県若者就職サポートセンター(厚生労働省委託)	22年度~	地元企業の人材確保、若年者の雇用拡大を図るため、厚生労働省の委託事業である若年者地域連携事業を受託し、若年者を対象とする企業説明会の開催やカウンセリング、職場定着支援を行う。ヤングハローワークとの併設により若年求職に対するワンストップ機能及びサービスの提供を行う。 ①若年者地域連携事業 ・若年者の採用拡大のための広報・啓発 ・若年者に対する企業説明会の実施 ・就職活動支援講座 ・企業交流セミナー ・面接力アップセミナー&実践コース ・コミュニケーションスキルアップ講座 ・就職内定者に対する講習会、職場定着支援講座 など	—	・センター利用の登録 新規登録人数2,513人、就職者数1,788人 ・カウンセリングの実施 相談件数2,355件 他	—	継続実施	継続予定	—	○	商工会議所		
284		4	3	3	2				そうしんカバン持ち体験事業	23年度~	学生が企業の社長を初めとした経営幹部の"カバン持ち"をすることで一日中行動を共にし、企業トップの行動や発言に直接触れ、その体験をもとに"自己の将来の"キャリアデザイン"を考えるというインターンシップとして開催する。	—	以下の日程で開催 ・受入企業向け事前説明会:平成27年7月17日 ・事前学習:平成27年8月6日・7日 ・企業研修:平成27年8月17日~9月16日の期間内3日間 ・研修報告書提出:平成27年9月25日 ・研修報告会:平成27年10月中旬	—	以下の日程で開催予定 ・受入企業向け事前説明会:平成28年7月15日 ・事前学習:平成28年8月8日・9日 ・企業研修:平成28年8月20日~9月14日の期間内3日間 ・研修報告書提出:平成28年9月28日 ・研修報告会:平成28年10月中旬	継続予定	—	◎	鹿児島相互信用金庫	鹿児島国際大	
285		4	3	3	2				就活フォーラム	23~26年度	新社会人となる前の大学生の「就業力」アップの支援を目的に、地域貢献活動の一環として実施する。	—	未実施	—	未実施	—	—	○	鹿児島相互信用金庫	鹿児島国際大 鹿大	
286		4	3	3	2				若年者緊急雇用支援事業(雇用基金)	24~25年度	厳しい雇用環境に置かれている若年者の再就職を支援するため、就業に必要な知識・技術を習得させる研修を行うとともに、県内企業等への一定期間派遣による雇用機会の提供を行うことにより、派遣期間終了後の常用雇用を目指す。	—	—	—	—	—	—	—	○	県(雇用労政課)	
287		4	3	3	2				若年者就職応援事業(雇用基金)	25年度	厳しい雇用環境に置かれている若年者の再就職を支援するため、就業に必要な知識・技術を習得させる研修を行うとともに、県内企業等への一定期間派遣による雇用機会の提供を行うことにより、派遣期間終了後の常用雇用を目指す。	—	—	—	—	—	—	—	○	県(雇用労政課)	
288		4	3	3	2				若年者雇用・人材育成事業(雇用基金)	25~26年度	潜在的な求人意欲のある創業間もない地元企業等において、地域資源を活用した新商品開発や販路開拓等の事業拡大に必要な人材を確保するため、若年未就職者を雇用し、人材育成を行うとともに、当該企業の成長を通じ今後の県内雇用の受け皿の拡大を図る。	—	—	—	—	—	—	—	○	県(雇用労政課)	
289		4	3	3	2				かごしまIT就職フェア	25年度~	人材不足に悩む県内IT企業が学生にPRする場を提供するとともに、IT系企業への就職を望む学生等を支援する。 就職支援等を通して鹿児島市経済の活性化、インキュベーション施設(ソフトプラザかごしま)の周知を図る。	—	未実施	—	未定	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	・鹿児島市 ・(一社)鹿児島県 情報サービス産業協会	
290		4	3	3	2				かごしまIT業界セミナー	25年度~	人材不足に悩む県内IT企業が、学生に自社の取組・活動内容をPRする場を提供するとともに、IT業界に対する興味喚起を図り、学生・一般の方と企業の人材マッチングをフォローする。また、ソフトプラザかごしまでの開催により、同施設の周知を図る。	—	15社を招いて実施済(ソフトプラザかごしまにて)	—	今年度も実施予定(日程未定)	継続予定	—	○	鹿児島相互信用金庫	・鹿児島市 ・(一社)鹿児島県 情報サービス産業協会 ・株式会社トビラ	
291	◎	4	3	3	3				中小企業UIターン人材確保支援事業	28年度~	市内の中小企業者等の人材確保を支援することによる地域産業の振興と定住人口の増加を図る。	—	—	2,513	<対象者> 次のいずれの要件も満たす市内の中小企業者等 ・納期の到来している市税を完納 ・市内に主たる事業所を有する ・雇用保険の適用事業所 ・暴力団に関与していない <補助率・上限等> ・補助対象経費(参加負担金及び旅費)の1/2 ・同一の事業所に対して上限10万円	継続予定	—	—	雇用推進課		
292		4	3	3	3				UIターンフェア"かごしま" & 県内就職合同面接会	—	県内企業の人材確保と、鹿児島県へのUIターン希望者の就職を促進するため、就職面接会を開催する。	—	・8月12日開催(鹿児島市) 参加企業:99社、参加求職者:283人	1,530	・8/12開催(鹿児島市) 参加企業100社、参加求職者337人	継続予定	—	○	県(雇用労政課)、鹿児島労働局		
293		4	3	3	3				ふるさと人材相談室の運営	—	県内企業の人材確保を図るため、東京、大阪及び鹿児島において、県内企業の中核的な人材となるようなUIターン希望者を対象とした無料職業紹介を実施する。	—	(事業実績) ・県内企業とUIターン希望者に対する無料職業紹介の実施 ・県ホームページや、リーフレットの作成・配布による事業のPR ・企業訪問による求人開拓 等	5,851	継続実施	継続予定	—	○	県(雇用労政課)		

【資料3】各事業の概要等一覧

◎:新規事業 □:拡充事業

白抜き:鹿児島市、網掛:関係機関

資料3

◎:十分に達成された(100%以上)
○:概ね達成された(70%以上)
△:あまり達成されなかった(70%未満)
-:H23~H27の実施事業なし

No.	新規・拡充	振興の方向性	基本方針	推進施策	主な取組み	戦略プロジェクト			事務・事業名	事業期間	事業概要	事業費(千円) 27決算額	27年度の実施状況	事業費(千円) 28予算額	28年度の実施内容	29年度以降(予定)		上期評価(23~27)	実施主体(所管)	関係機関等
						1 食の都	2 外貨獲得	3 新産業創出								拡充要素(予定)				
294		4	3	3	4				中小企業退職金共済掛金補助事業	S52年度~	市内中小企業の中小企業退職金共済制度及び特定退職金共済制度への新規加入を促進することにより、中小企業勤労者の福祉の増進に寄与する。	4,790	<対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額 【26年度実績】 52事業所 263人	4,790	<対象者> 次の要件を全てに該当する共済契約者(事業主) ・市内に事務所または事業所を有する者 ・新規に共済契約を締結した月から引き続いて12か月分の掛金を納付している共済契約者 <補助金額> 被共済者1人につき、掛金の額(掛金の額が5,000円を超える時は5,000円)の12か月分に相当する額に100分の20を乗じて得た額	継続予定	—	○	雇用推進課	
295		4	3	3	4				中小企業勤労者総合福祉推進事業	5年度~	本市の中小企業勤労者に総合的な福利厚生事業を提供する(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターを育成することにより、中小企業勤労者の工場を回るとともに中小企業の振興、地域社会の活性化に寄与する。	13,615	(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営に係る経費及び健康の維持増進事業に係る経費の一部を助成する。	13,615	(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営に係る経費及び健康の維持増進事業に係る経費の一部を助成する。	継続予定	—	○	雇用推進課	
296		4	3	3	4				勤労者交流センター管理運営事業	12年度~	勤労者の余暇活用の充実と相互交流を促進するため、勤労者交流センターを設置する。	72,947	〔管理運営〕 ・委託先:(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など	71,400	〔管理運営〕 ・委託先:(公財)鹿児島市中小企業勤労者福祉サービスセンター ・業務内容:施設の維持管理、施設等の使用許可、使用料の収納 など	継続予定	—	○	雇用推進課	
297	◎	4	3	3	4				ワーク・ライフ・バランスを目指す事業所応援事業	28年度~	男女がともに、子育て・介護など人生の各段階において働きやすい職場づくりを促進するとともに、労働力人口が減少する中で期待される女性の再就労や就労継続に寄与する。	—	—	285	1 WLB推進の紹介・意識啓発 (1)ワーク・ライフ・バランス推進のリーフレットの作成・配布 (2)鹿児島労働局との連携による人事・労務管理担当者向けセミナーの実施 2 WLB推進の後押し 1)により取組に意欲のある事業所へ無料のコンサルタント派遣	継続予定	—	—	雇用推進課	
298		4	3	3	4				子育て応援企業登録事業	—	一般事業主行動計画(次世代育成支援対策推進法に基づく。)を策定し、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業を「かごしま子育て応援企業」として登録し、広く県民に紹介することで社会的に評価される仕組みを作り、県内企業の子育て支援に対する自主的な取組を促進する。	—	・平成28年3月31日現在の登録企業数:315社	389	継続実施	継続予定	—	○	県(雇用労政課)	

◎ 12 37 127 57
□ 17

継続予定 198
拡充 9
事業終了 82
その他 9
計 298

◎ 51
○ 230
△ 6
— 11
計 298